

社会福祉法人廿日市市社会福祉協議会

令和5年度事業報告

はじめに

令和2（2020）年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に、5類感染症へと移行し、家庭、学校、職場、地域、あらゆる場面で日常を取り戻しました。しかしながら、生活福祉資金（コロナ特例貸付）の償還が始まるなど、コロナ禍でマイナスとなった生活の立て直しが本格的に始まりました。

また、資産価格の上昇、円安の進行、海外での戦争の情勢及び日米間の金融政策の違いなどを要因として、賃上げを上回る物価高騰により、世帯の家計バランスが崩れる状況も見られ、現在も続いています。

こうした中、社会福祉協議会は、生活福祉資金債務者の支援に関して体制を強化して努めるとともに、人口減少や高齢化、コロナ禍の影響などによる地域における助け合いの機能低下に対し、廿日市市が取組む生活支援体制整備事業や重層的支援体制整備事業、また、権利擁護・成年後見制度利用促進に係る事業の一翼を担うことなどによって「新しい支え合い」のしくみづくりを目指し、支え合える地域、社会づくりに取り組みました。

また、コロナ禍の終息により、多くの人が集まるイベントが可能となったことから、共同募金の臨時的な財源を活用し「あそび×まなびフェスタ」を開催することで、コロナ禍を払拭するシンボリックイベントとすることができました。

併せて、第3期地域福祉活動計画・第2次中期経営計画の策定時に予定していた両計画の中間評価・見直しを行うとともに、本会としては初めての事業継続計画（BCP）を策定し、大地震等の自然災害、感染症のまん延など、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生した場合に備えました。

基本方針

令和5年度は、活動計画及び経営計画で示す推進及び目標事項がスムーズに取り組めるよう、次の3つを基本目標に設定し、現在行なっている事業の改善を図りながら、継続して取り組みました。

【基本目標】

- 1 いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、一人ひとりに寄り添った支援を進めます
- 2 誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます
- 3 職員の資質向上、魅力ある組織づくり、持続可能な財政基盤づくりを進めます

目 次

はじめに

基本方針

基本目標 1 1

- いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、一人ひとりに寄り添った支援を進めます

基本目標 2 22

- 誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます

基本目標 3 44

- 職員の資質向上、魅力ある組織づくり、持続可能な財政基盤づくりを進めます

基本目標 1

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、一人ひとりに寄り添った支援を進めます

少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済・雇用情勢の変化や地域社会・家族形態の変容などを背景に、本市でも、ひきこもり・孤立の問題や虐待などの権利擁護の問題、生活困窮といった新たな福祉課題・生活課題が顕在化しています。

本会では、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、一人ひとりに寄り添った支援を進めるための事業を行いました。

生活課題は必ずしも一つとは限りません。むしろ複雑に絡み合い、身動きが取れないことも多くあります。本人と課題の整理、必要な専門機関との連携、解決に向けた支援が必要です。解決の道筋の中で「住民による個別支援」にも注目し、地域の力を高めていく視点を大切にして取り組んでいます。

本年度は重層的支援体制整備事業の本格実施2年目にあたり、相談の入口（包括的相談支援）から出口（参加支援）までの本会の果たすべき役割を再確認しながら、ひきこもり支援等の必要な取り組みをさらに進めました。

また、成年後見制度利用促進における中核機関として、地域連携ネットワークを強化し、計画的に推進しました。

この基本目標に向けて実施した事業は次のとおりです。

| 事業名 | 第3期廿日市地域福祉活動計画との関連性 | 決算額 (千円) | 財源 | | | |
|----------------------|----------------------------|-------------|----|----|----|-----|
| | | | 自主 | 補助 | 委託 | その他 |
| 1 重生活困窮者自立相談支援事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 活動方針Ⅱ／推進事項2 | 22,839 | ○ | | ○ | ○ |
| 2 重生活困窮者家計改善支援事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 活動方針Ⅱ／推進事項2 | 7,808 | | | ○ | |
| 3 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 | 6,972 | | | ○ | |
| 4 重ひきこもり支援ネットワーク構築事業 | 活動方針Ⅲ／推進事項1 活動方針Ⅲ／推進事項2 | 1,010 | | ○ | | ○ |
| 5 重生活福祉資金貸付事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 | 14,508 | | | ○ | |
| 6 緊急生活安定資金貸付事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 | 429 | ○ | | | |
| 7 新母子父子自立支援プログラム策定事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 活動方針Ⅲ／推進事項1 | 379 | | | ○ | |
| 8 福祉サービス利用援助事業「かけはし」 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 活動方針Ⅱ／推進事項2 | 12,997 | ○ | | ○ | |
| 9 法人後見事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 活動方針Ⅱ／推進事項2 | 2,688 | ○ | | | |
| 10 重成年後見利用促進センター事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項1 | 9,000 | | | ○ | |
| 11 重参加支援事業 | 活動方針Ⅲ／推進事項1 活動方針Ⅲ／推進事項2 | 9,999 | | | ○ | |

| | | | | | | | |
|----|----------------------|----------------------------|--------|---|---|---|---|
| 12 | 情報支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅰ | 3,319 | ○ | | ○ | |
| 13 | 精神障がい者福祉推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅰ 活動方針Ⅲ／推進事項Ⅰ | 53 | | | | ○ |
| 14 | 障がい児者福祉推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅰ 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅱ | 145 | | | | ○ |
| 15 | 福祉総合相談事業 | 活動方針Ⅱ／推進事項Ⅰ | 1,517 | | ○ | | ○ |
| 16 | ファミリー・サポート・センター事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅰ | 8,679 | ○ | | ○ | |
| 17 | 福祉車両貸出事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅰ 活動方針Ⅲ／推進事項Ⅰ | 4,408 | | | ○ | |
| 18 | 障がい児者指定居宅等介護事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項Ⅰ | 19,819 | ○ | | | |
| 19 | 新(佐)認知症高齢者家族やすらぎ支援事業 | 活動方針Ⅲ／推進事項Ⅰ | 170 | ○ | | ○ | |
| 20 | (吉)障がい者社会参加促進事業 | 活動方針Ⅲ／推進事項Ⅰ | 1,295 | | | ○ | ○ |

各事業の詳細については、次のとおりです。

| 1 「重点」生活困窮者自立相談支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|-------|-------|-------|-------|----------|------|------|------|------------|------|------|------|----------|------|------|------|----|-------|-------|-------|-----------|-----|----|----|--------------|-----|-----|----|
| 目的 | 生活困窮者の自立に向けて、生活困窮者及び生活困窮者の家族や関係者からの相談に応じ、個々人の状態に合った計画を作成し、必要なサービスや制度等につなげるとともに、寄り添いながら支援を進める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 生活と就労に関する支援員三職種(主任相談支援員、相談支援員、就労支援員)を配置し、生活困窮者の経済的自立の支援をした。</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談受付件数</td> <td>330件</td> <td>302件</td> <td>341件</td> </tr> <tr> <td>自立支援計画作成件数</td> <td>118件</td> <td>128件</td> <td>149件</td> </tr> <tr> <td>支援計画評価件数</td> <td>135件</td> <td>105件</td> <td>118件</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度はコロナ禍だったため、必然的に相談件数は多かったが、令和5年度はそれを越える新規相談があり、他の関連事業を含め増加傾向にある。それに伴い、支援プラン(支援計画)の作成件数も増加した。しかし、支援の終結(支援計画評価件数)は例年と変わらない実績となっている。</p> <p>(2) 経済的な自立の見通しが立ちにくい相談者の生活保護受給への引継ぎや、生活保護から自立する人への生活支援を実施した。</p> <p>生活保護担当課職員(査察指導員)に支援調整会議への参加と担当課と日常的に必要な情報交換等を行うなど連携を図り、生活保護が必要であると判断される相談者は担当課につなぎ、また、自立相談支援機関の支援が必要な対象者については担当課と連携し、支援を行なった。</p> <p>(3) 法に基づく支援「一時生活支援事業」「住居確保給付金」の申請を受付けた。</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住居確保給付金件数</td> <td>33件</td> <td>7件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>一時生活支援事業利用件数</td> <td>11件</td> <td>11件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>住居確保給付金について、令和3年度はコロナ禍により、受給要件が緩和されたため、受付件数が増加しているが、要件緩和が解除されて以降は例年通りで推移している。一時生活支援事業については例年と変わらず推移している。</p> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 新規相談受付件数 | 330件 | 302件 | 341件 | 自立支援計画作成件数 | 118件 | 128件 | 149件 | 支援計画評価件数 | 135件 | 105件 | 118件 | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 住居確保給付金件数 | 33件 | 7件 | 8件 | 一時生活支援事業利用件数 | 11件 | 11件 | 9件 |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新規相談受付件数 | 330件 | 302件 | 341件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自立支援計画作成件数 | 118件 | 128件 | 149件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支援計画評価件数 | 135件 | 105件 | 118件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 住居確保給付金件数 | 33件 | 7件 | 8件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一時生活支援事業利用件数 | 11件 | 11件 | 9件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(4) 生活困窮から自立を目指す相談者が地域で孤立しないための社会資源と連携した。

【年度別実績】

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------------|-------|-------|-------|
| 地域(子ども食堂等)連携 | — | — | 3件 |

自立相談支援機関の相談者(男性)を地域サロンにつなぎ、地域で参加できる場を作ることができた。また、子ども食堂に参加し、そこに参加する親と交流する機会を作ることができた。

(5) 中間的就労促進に関するしくみづくりを行なった。

【年度別実績】

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 就労体験・見学先企業開拓数 | 18件 | 30件 | 15件 |

就労体験受入企業、職場見学受入企業は前年と比べると減少している。令和4年度は無作為に企業訪問をしていたことで、企業の需要に対し人材の供給が充分でなかった。今年度は自立相談支援機関の相談者のニーズに合わせるよう企業開拓をしたので、受入企業件数は減ったが、実際に体験した相談者は増加させることができた。

また、新しい試みとして、ボランティアセンターと連携した「職場見学ツアー」を実施し、延べ12人(10代から30代前半)の参加があった。参加した相談者2人の就職が決定した。

(6) 居住支援に関するネットワークに参画し、住宅確保要配慮者に対する支援体制を構築した。

【年度別実績】

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 居住支援関連会議等参加 | 5件 | 7件 | 7件 |

令和5年3月に廿日市市居住支援協議会が発足し、これに参加している。県担当課、市住宅政策課と連携し、他市の居住支援協議会や、全国居住支援サミットに参加した。

(7) 緊急支援物資に関する提供体制を構築した。

【年度別実績】

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------|-------|-------|-------|
| フードバンク提供件数 | 133件 | 217件 | 415件 |
| フードバンク寄贈件数 | 96件 | 73件 | 154件 |

自立相談支援の相談件数が増えたため、緊急支援物資の提供件数が倍増した。

県や市からの寄贈の他、「あいとぴあ」での広報活動等により、市民からの寄贈が増加し、食料確保につながった。

重点事項

地域や関係機関に事業説明するためのツール(パワーポイント、チラシ)を見直し、収集した事例を活用し内容を充実させる。

⇒関係機関に事業説明や取り組みを説明する機会が多かったため、関係機関向けの事業説明資料を作成し、それを基に事業説明を実施した。

2 「重点」生活困窮者家計改善支援事業

目的

自立した家計管理ができるよう、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計状況の「見える化」と課題の把握を行い、早期の生活再生をサポートする。

実施内容

家計に問題を抱える生活困窮者の相談に応じ、家計の状況を明らかにして、生活の再生に向けた意欲を引き出し、必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期の生活再生に向け支援した。

(1) 家計管理に関する支援(家計診断、家計表・家計支援計画の作成)

アセスメント家計表を活用した家計の「見える化」により、相談者と共に家計の背景にある課題の把握を行なった。また、相談者に合わせた個別の家計支援計画を作成

| | <p>し、家計の再生に向けた具体的な提案や助言を行なった。</p> <p>(2) 滞納(家賃、税金、公共料金等)の解消や年金、各種給付制度の利用に向けた支援 相談者と共に家計収支や滞納等の状況を明らかにし、行政の関係部署や民間の関係機関に同行するなどにより、滞納解消に向け支援した。また、制度に関する知識がなく、制度の利用ができていない場合には、専門的な立場から給付や減免等の制度の利用支援を行い、家計改善を図った。</p> <p>(3) 債務整理に関する支援(多重債務者相談窓口) 消費生活相談窓口、多重債務相談窓口、弁護士や司法書士、法テラス等への同行等により、債務整理に関する支援を行なった。</p> <p>(4) 貸付のあっせん 失業や減収等により生活が困窮している相談者の内、貸付によって生活の立て直しが見込まれる人に対しては、生活福祉資金、緊急生活安定資金等の貸付をあっせんし、自立に向けた支援を行なった。(実績についてはそれぞれの事業で報告)貸付あっせん後は、貸付事業担当者と連携し、家計状況や償還状況を見守り、計画通り償還が行われるよう支援した。</p> <p>(5) 他事業等との連携による支援 家計管理の自立が困難な相談者を福祉サービス利用援助事業につなぎ、役割を分担して支援した。また、家計の増収に関しては、自立相談支援機関の就労支援事業や、年金取得や障害福祉サービス利用のため医療機関や基幹相談支援センター等と連携を図った。</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家計支援計画作成</td> <td>36件</td> <td>54件</td> <td>58件</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 家計支援計画作成 | 36件 | 54件 | 58件 |
|----------|---|-------|-------|-------|-------|----------|-----|-----|-----|
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | |
| 家計支援計画作成 | 36件 | 54件 | 58件 | | | | | | |
| 重点事項 | <p>当事者目線で家計状況が確認しやすく、支援員の業務の効率化を図るための家計表ツールの見直しを行う。</p> <p>⇒実際に活用している家計表ツールを基に、追加または削除したい項目等を精査し、現状に即した内容になるよう見直した。業務効率化のため、日単位で入力したデータが月単位、年単位の表に自動的に反映する家計表を作成した。</p> | | | | | | | | |

| 3 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業 | | | | | | | |
|---------------------|---|------|----|-----|-----|--|------|
| 目的 | 現在または将来的に困窮のおそれがある子どもに対し、自立の素地を高め、子どもの学力向上と社会性を育むことを目指す。 | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 学習・生活支援</p> <p>ア 訪問型支援 不登校児童等登録者 18 人に対し 1 人につき週 1 回 2 時間程度の個別的な支援を 383 回行なった。</p> <p>イ 集合型支援 不登校児童等登録者 10 人に対し、毎週日曜日(14 時～16 時)あいプラザなどを拠点として主にサポーターによる支援を 34 回行なった。</p> <p>(2) 保護者や相談機関に対する相談支援をした。また、関係機関が開催するケース会議へ出席し、連携の強化を図った。(45 回)</p> <p>(3) 学習支援サポーター養成講座の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/2</td> <td> <p>テーマ：一歩踏み出そうとする子どもたちに寄り添ってみませんか？</p> <p>講師：学習支援アドバイザー 一般社団法人 広島学びのサポートセンター 理事 橋 直哉さん</p> </td> <td>22 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 関係機関や地域からのニーズキャッチを随時行なった。</p> | 開催日 | 内容 | 参加者 | 7/2 | <p>テーマ：一歩踏み出そうとする子どもたちに寄り添ってみませんか？</p> <p>講師：学習支援アドバイザー 一般社団法人 広島学びのサポートセンター 理事 橋 直哉さん</p> | 22 人 |
| 開催日 | 内容 | 参加者 | | | | | |
| 7/2 | <p>テーマ：一歩踏み出そうとする子どもたちに寄り添ってみませんか？</p> <p>講師：学習支援アドバイザー 一般社団法人 広島学びのサポートセンター 理事 橋 直哉さん</p> | 22 人 | | | | | |

| 4 「重点」 ひきこもり支援ネットワーク構築事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|--------|-----|-----|-----|-----|------|----|----|------|----------|----|----|------|--------|-----|----|-------|------|----|----|------|-------|----|----|------|-------|----|----|-------|----------|----|----|------|-------|----|----|------|--------|--------|-----|-----|-----|------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|-----|-------|---|----|------|--------|-----|-----|------|--------|----|-----|------|--------|-----|------|
| 目 的 | さまざまな事情で学校に行けない子どもや、家から出ることが難しい人、またその家族が社会から孤立することを防ぐため、「当事者支援」「ピアサポート支援」「当事者が安心して暮らせる地域づくり」を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 当事者への支援</p> <p>ア 不登校・ひきこもりの当事者・家族から7件の相談に応じた。</p> <p>イ 社会とつながるための体験活動のコーディネート(きっかけプロジェクト、すけっとプロジェクト)をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者</th> <th>協力者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/6</td> <td>船釣り①</td> <td>5人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>9/13</td> <td>どろだんごづくり</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>10/3</td> <td>そうめん流し</td> <td>10人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>10/31</td> <td>船釣り②</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>11/1</td> <td>ピラティス</td> <td>5人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>12/6</td> <td>ドローン①</td> <td>8人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>12/13</td> <td>サバイバルゲーム</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>2/14</td> <td>ドローン②</td> <td>8人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>スポーツ体験会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>のべ参加者数</th> <th>のべ協力者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12回</td> <td>48人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボードゲーム大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>のべ参加者数</th> <th>のべ協力者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12回</td> <td>40人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 家族向け講演会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/16</td> <td>テーマ：親亡き後のマネープラン 講 師：ライフカラース 藪内 美樹 さん</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>12/23</td> <td>テーマ：ひきこもりがちな青少年とその家族への支援活動の実際 講 師：青少年交流・自立・支援センターCROSS 齋藤 圭子 さん</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ピアサポート支援</p> <p>ア 学校に行っていない子どもの暮らしを考える親の会を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>のべ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ ひきこもり家族会を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>のべ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8回</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 不登校の子どもの居場所・ひきこもりの若者のサロンを開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>のべ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48回</td> <td>156人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 安心して暮らせる地域づくり</p> <p>きっかけプロジェクト・すけっとプロジェクトの協力者の開拓、共生的な場づくり 新たに4人の協力者がきっかけプロジェクトに関わった。</p> | 実施日 | テーマ | 参加者 | 協力者 | 9/6 | 船釣り① | 5人 | 1人 | 9/13 | どろだんごづくり | 4人 | 1人 | 10/3 | そうめん流し | 10人 | 2人 | 10/31 | 船釣り② | 2人 | 1人 | 11/1 | ピラティス | 5人 | 1人 | 12/6 | ドローン① | 8人 | 2人 | 12/13 | サバイバルゲーム | 6人 | 3人 | 2/14 | ドローン② | 8人 | 2人 | 実施回数 | のべ参加者数 | のべ協力者数 | 12回 | 48人 | 67人 | 実施回数 | のべ参加者数 | のべ協力者数 | 12回 | 40人 | 27人 | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 12/16 | テーマ：親亡き後のマネープラン 講 師：ライフカラース 藪内 美樹 さん | 18人 | 12/23 | テーマ：ひきこもりがちな青少年とその家族への支援活動の実際 講 師：青少年交流・自立・支援センターCROSS 齋藤 圭子 さん | 9人 | 実施回数 | のべ参加者数 | 10回 | 20人 | 実施回数 | のべ参加者数 | 8回 | 25人 | 実施回数 | のべ参加者数 | 48回 | 156人 |
| 実施日 | テーマ | 参加者 | 協力者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9/6 | 船釣り① | 5人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9/13 | どろだんごづくり | 4人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10/3 | そうめん流し | 10人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10/31 | 船釣り② | 2人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11/1 | ピラティス | 5人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/6 | ドローン① | 8人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/13 | サバイバルゲーム | 6人 | 3人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2/14 | ドローン② | 8人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施回数 | のべ参加者数 | のべ協力者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12回 | 48人 | 67人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施回数 | のべ参加者数 | のべ協力者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12回 | 40人 | 27人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/16 | テーマ：親亡き後のマネープラン 講 師：ライフカラース 藪内 美樹 さん | 18人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/23 | テーマ：ひきこもりがちな青少年とその家族への支援活動の実際 講 師：青少年交流・自立・支援センターCROSS 齋藤 圭子 さん | 9人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施回数 | のべ参加者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10回 | 20人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施回数 | のべ参加者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8回 | 25人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施回数 | のべ参加者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48回 | 156人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>(1) 「すけっとプロジェクト」の実施(新規)</p> <p>誰かの役に立つことが当事者に実感できるような場、仕組みを地域の中でマッチングする。地域にない仕組みについては新たに創出する。 ⇒学習支援でのサポートや、福祉教育での車いす体験のボランティア参加を呼び掛けた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>(2) 支援者ネットワークづくり ひきこもり実態調査で回答していただいた事業所や、つながりのある関係機関へ呼びかけ、勉強会を開催する。 ⇒講演会は保護者向けの内容ではあったが、関係機関に周知したところ、関心のある事業所や市職員の参加があった。</p> |
|--|--|

5 「重点」生活福祉資金貸付事業

| 目 的 | <p>収入が少なく、他の方法によっても日常生活を送るうえで一時的に必要な資金が確保できない世帯に対して、経済的自立の促進及び生活意欲の向上を図り、生活の自立と安定に向けて、資金貸付と必要な相談援助を行う。</p> <p>また、生活福祉資金特例貸付(コロナ特例)を利用した人の中で、現在も日常生活全般に困難を抱えている人に、継続的な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の向上、社会参加の促進を図りながら、必要に応じて就労支援、家計改善支援事業を利用し、世帯の生活が安定するよう支援する。</p> | | | | | | | | | | | | |
|------|--|------------|------------|-------|-------|------|----|----|----|------|------------|------------|------------|
| 実施内容 | <p>【年度別実績】(特例貸付除く、本則のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付件数</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>1,899,000円</td> <td>1,563,000円</td> <td>1,554,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 償還計画の立案と書面による共有 計画的な償還につながるように、借受人、連帯借受人、連帯保証人に対し、民生委員児童委員と連携し、償還計画を立案し、書面による情報共有に努めた。</p> <p>(2) 滞納者に対する年2回の償還指導を実施 県社協から年2回届く滞納者(コロナ特例含む)に対する残額の通知を送付し、償還督促を行なった。</p> <p>(3) 償還猶予、免除に関する相談対応・自立相談支援機関及び関係機関との連携 償還猶予の手続き支援は、借受人(コロナ特例)36人(猶予期間終了時を含む)に対応し、免除申請の手続き支援は、借受人(コロナ特例)5人以上に対応し、困りごとには、自立相談支援機関、就労支援、家計改善支援を含む)や各関係機関と連携して対応した。</p> | 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 貸付件数 | 6件 | 8件 | 9件 | 貸付金額 | 1,899,000円 | 1,563,000円 | 1,554,000円 |
| 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | |
| 貸付件数 | 6件 | 8件 | 9件 | | | | | | | | | | |
| 貸付金額 | 1,899,000円 | 1,563,000円 | 1,554,000円 | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>償還に関する相談で、丁寧な相談対応と自立相談支援機関及び関係機関と連携を図り、世帯の生活が安定するよう支援する。 ⇒来所(面談)・電話・訪問・手紙による情報提供等の相談援助件数は663件で、償還につなげ、困りごとには各関係機関と連携して対応した。</p> | | | | | | | | | | | | |

6 緊急生活安定資金貸付事業

| 目 的 | <p>生活困窮の状態にある人の経済的自立及び生活の安定を目指すため、緊急的かつ一時的な資金貸付と必要な相談援助を行う。</p> | | | | | | | | | | | | |
|------|---|------------|----------|-------|-------|------|-----|-----|-----|------|----------|------------|----------|
| 実施内容 | <p>(1) 借受人に対する計画的償還指導及び生活課題に対する相談支援 新規借受人の償還計画を作成し、滞納した場合や滞納する恐れがある場合は電話連絡等により、相談支援を実施した。</p> <p>(2) 滞納者に対する償還指導 滞納者に償還に関する通知文を年2回送付し、償還指導を行なった。</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付件数</td> <td>20件</td> <td>32件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>821,000円</td> <td>1,100,000円</td> <td>807,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 貸付件数 | 20件 | 32件 | 20件 | 貸付金額 | 821,000円 | 1,100,000円 | 807,000円 |
| 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | |
| 貸付件数 | 20件 | 32件 | 20件 | | | | | | | | | | |
| 貸付金額 | 821,000円 | 1,100,000円 | 807,000円 | | | | | | | | | | |

7 【新規】母子父子自立支援プログラム策定事業

| | |
|-----|--|
| 目 的 | <p>自立に向けて意欲的に取組む、ひとり親家庭の自立の促進を図ることを目的とした、住宅支援資金の申請に必要な、母子父子自立支援プログラムを策定する。</p> |
|-----|--|

| 実施内容 | (1) 生活状況、就業への意欲、資格取得への取組み等の把握 毎月の定期面談もしくは連絡で状況確認し、就業への意欲向上への助言を行なった。 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---------------------------|----|----|-----|------|---------------------------|--|----|----|----|----|----|
| | (2) 個々のケースに応じた自立支援プログラムの策定 自立支援プログラムを7件策定した。 | | | | | | | | | | | | | |
| | (3) プログラムに沿った支援状況のフォロー、就労につながるまでの関わり 就労支援を行い、7人中5人が就労につながった。 | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">就労決定</th> <th rowspan="2">求職者</th> </tr> <tr> <th>正規雇用</th> <th>パートタイム雇用 (非正規フルタイムを含む)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> | | 就労決定 | | | 求職者 | 正規雇用 | パートタイム雇用 (非正規フルタイムを含む) | | 人数 | 5人 | 3人 | 2人 | 2人 |
| | | | 就労決定 | | | | 求職者 | | | | | | | |
| | | 正規雇用 | パートタイム雇用 (非正規フルタイムを含む) | | | | | | | | | | | |
| | 人数 | 5人 | 3人 | 2人 | 2人 | | | | | | | | | |
| | (4) 自立後の生活状況や再支援の必要性を確認するためのアフターケア 就労決定後も定期的に生活状況を確認し、信頼関係を形成することで、プラン終結後も相談しやすい環境作りを行なった。 | | | | | | | | | | | | | |
| | (5) 新規申込者の受付及び説明記録の管理 生活困窮者自立支援統計システムで記録の管理を行なった。 | | | | | | | | | | | | | |
| | (6) ハローワークからの情報収集、同行支援等 ハローワークから情報を収集し、失業手当の申請などの同行支援を行なった。 | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 該当者への求人情報送付 面談もしくは電話で情報提供を行なった。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (8) 各々の自立支援プログラムの経過記録入力 生活困窮者自立支援統計システムで経過記録の入力を行なった。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (9) 母子父子自立支援プログラム進行管理表作成 件数が少なく、経過記録と定期面談で進行を管理した。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (10) 児童扶養手当現況届送付に合わせた継続意向調査 件数が少なく、各個人の定期面談時に継続の意向を確認した。 | | | | | | | | | | | | | | |

| 8 福祉サービス利用援助事業「かけはし」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|-----|----|----|----|----|---|-----|-----|----|-----|----|------|--------|--------|--------|-----|---|-----|-----|-----|-----|------|--------|--------|--------|-----|---|--|--|--|--|--|
| 目的 | 認知症や障がい等により判断能力の低下がみられる人が、地域で安心した生活を送ることができるよう支援する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 利用者に提供するサービス</p> <p>ア 相談(初期相談、契約、支援計画の作成など) 制度に関する問い合わせや相談 449 件の内、初期相談 48 件中 12 件について契約を締結した。</p> <p>イ 利用申請の受付と判断能力等の評価・判定 25 件の利用申請があり、判断能力等の評価を行なった。</p> <p>ウ 支援計画の作成/契約の締結 12 件契約締結を行い、支援計画を作成した。</p> <p>エ 福祉サービスの利用支援・日常的な金銭管理・書類等の預り</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実利用人数</td> <td>126人</td> <td>123人</td> <td>116人</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域別実利用人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>廿日市</th> <th>佐伯</th> <th>吉和</th> <th>大野</th> <th>宮島</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75人</td> <td>19人</td> <td>1人</td> <td>18人</td> <td>3人</td> <td>116人</td> </tr> </tbody> </table> <p>類型別実利用人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>認知症高齢者</th> <th>知的障がい者</th> <th>精神障がい者</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>47人</td> <td>13人</td> <td>116人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業開始(平成11年)からの累計契約件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>認知症高齢者</th> <th>知的障がい者</th> <th>精神障がい者</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 実利用人数 | 126人 | 123人 | 116人 | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 計 | 75人 | 19人 | 1人 | 18人 | 3人 | 116人 | 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 計 | 28人 | 28人 | 47人 | 13人 | 116人 | 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 計 | | | | | |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実利用人数 | 126人 | 123人 | 116人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75人 | 19人 | 1人 | 18人 | 3人 | 116人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28人 | 28人 | 47人 | 13人 | 116人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------------|--------|--------|------|--------|
| 193件 | 53件 | 105件 | 40件 | 391件 |
| 訪問、窓口、電話等による相談・調整・支援件数 | | | | |
| 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 計 |
| 2,114件 | 2,335件 | 2,947件 | 965件 | 8,361件 |

(2) 運営業務

ア 初期相談体制の確保

電話や窓口での相談に、権利擁護グループ・各事務所の担当職員が随時対応できる体制を築いた。

イ 生活支援員の委嘱及び研修

生活支援員を委嘱し、資質向上のための研修会を実施した。

生活支援員登録人数(地域別)

| | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|
| 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 計 |
| 18人 | 8人 | 1人 | 6人 | 0人 | 33人 |

生活支援員研修会

| 開催日 | 内 容 | ※参加者 |
|------|---|------|
| 4/21 | テーマ：精神障がい者の特性と関わり方について 講 師：医療法人社団 友和会 相談支援事業所エスペランサ 相談支援専門員 社会福祉士・精神保健福祉士 笹田 美代子 さん | 16人 |
| 9/28 | テーマ：成年後見制度の『ホント』のはなし ～「不正防止」と「私らしい暮らし」～ 講 師：広島県弁護士会 高齢者・障害者等の権利に関する委員会委員長 廿日市市保健福祉審議会地域共生専門部会委員 弁護士 日野 真裕美 さん | 1人 |
| 1/25 | テーマ：思春期のストレスマネジメント ～こころの成長・こころの病気～ 講 師：看護師 公認心理士 ANJ 実践リーダー 鈴木 ちさ さん | 9人 |

※研修会に参加した生活支援員の人数

ウ 全社協・県社協が実施する各種研修へ参加した。

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|----------------------|--|-----|
| 6/6 | 【広島県社会福祉協議会主催】 令和5年度かけはし基本研修 | 4人 |
| 6/19 1/12 | 【広島県社会福祉協議会主催】 令和5年度かけはし・法人後見事業推進会議 | 1人 |
| 6/23 | 【広島県社会福祉協議会主催】 中途採用者のための福祉の基本を学ぶ研修 | 1人 |
| 6/27 | 【広島県精神保健福祉協会主催】 認知行動療法エッセンス | 1人 |
| 7/25 8/28 9/19 | 【広島県社会福祉協議会主催】 キャリア別社協職員研修 | 1人 |
| 8/4 | 【広島県社会福祉協議会主催】 福祉職のための伝え方研修 | 2人 |
| 9/11 | 【広島県社会福祉協議会主催】 対人援助職のストレスマネジメント研修 | 2人 |

| | | |
|------------|-------------------------------------|----|
| 9/11 | 【広島県社会福祉協議会主催】 かけはし専門員・法人後見担当者会議 | 1人 |
| 1/28 | 【全国社会福祉協議会主催】 後見人等への意思決定支援研修 | 1人 |
| 2/8 2/9 | 【全国社会福祉協議会主催】 令和5年度専門員実践力強化研修 | 1人 |
| 2/29 | 【広島県社会福祉協議会主催】 中核機関体制整備に向けた市町研修会 | 1人 |
| 3/13 | 【広島県社会福祉協議会主催】 福祉信託オンラインセミナー | 3人 |

エ 新規ケース会議及び利用調整会議等の開催(随時)
新規ケース会議や担当者会議等を75回開催、もしくは参加した。

オ 市民及び関係機関の理解促進
11/28 地域ケア会議で民生委員へ向けて、2/29 市職員(生活保護係)へ向けて制度の説明を行い、理解促進を図った。

カ 所内会議(廿日市：月1回)
所内会議(廿日市)を月1回、年12回開催し、困難ケースの問題解決に向けた協議や情報共有を行なった。
全事務所の担当職員による事業担当者会議を1回開催し、事務所間での連携方法についての情報共有や、成年後見利用促進センターとの連携方法について検討した。(4/21)

キ かけはし契約準備中の人に対する支援方法の検討
適宜電話等で状況を確認し、関係者と連携して対応した。

| 9 法人後見事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|----|----|----|-----|-------|-------|-------|--|--|--|--|
| 目 的 | 本会が成年後見人、保佐人若しくは補助人を担うことにより、成年被後見人、被保佐人又は被補助人を保護、支援し、誰もが安心して日常生活を送ることができる地域づくりに取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 利用者に提供するサービス</p> <p>ア 成年後見制度に関する相談 随時、かけはし契約者の親族や市民、関係機関等からの成年後見制度に関する相談に対応した。</p> <p>イ 身上保護に関する支援 法人後見事業利用者が安心して日常生活を送ることができるよう、担当ケアマネージャーや相談員、病院や施設職員等と連携し、入所入院の契約や手続き等、身上保護を行なった。</p> <p>ウ 財産管理に関する支援 法人後見事業利用者の通帳やキャッシュカード、その他貴重品を預かり、本人に代わり財産の適切な維持管理を行なった。</p> <p>エ その他、後見事業に必要な支援(支援体制の構築、広報活動、支援員育成等) 職員がスムーズに相談対応できるよう、知識習得を目的とした各種研修を受講した。</p> <p>(2) 支援体制の推進</p> <p>ア 成年被後見人等へ支援(新型コロナウイルス感染状況を考慮して、柔軟かつ適切な対応)した。</p> <p>【年度別実績】受任者(後見・保佐)数の合計(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受任ケース</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【年度別実績】受任者への訪問・来所・電話対応等の合計支援(件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 受任ケース | 9人 | 8人 | 8人 | 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | |
| 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受任ケース | 9人 | 8人 | 8人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 支援等件数 | 507件 | 501件 | 479件 |
|-------|------|------|------|

年度末時点の受任ケース内訳 ()内は前年度実績

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | 計 |
| 4人(4人) | 3人(3人) | 1人(1人) | 8人(8人) |

※6件が後見類型、2件が保佐類型

訪問、窓口、電話等による相談・調整・支援件数 ()内は前年度実績

| | | | |
|----------------|----------------|--------------|----------------|
| 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | 計 |
| 222回 (213回) | 239回 (276回) | 18回 (12回) | 479回 (501回) |

受任等件数

| 項目 | 件数 | 項目 | 件数 |
|----------|----|------|----|
| 候補依頼受付 | 1件 | 候補承諾 | 1件 |
| 申立 | 1件 | 新規受任 | 1件 |
| 報酬付与申し立て | 8件 | 終了 | 1件 |

イ 廿日市市権利擁護支援地域連携ネットワーク推進会議において、法人後見事業の年度実績等を報告した。

| 開催日 | 内容 | 出席者 |
|-------|-----------------------------|-----|
| 6/29 | 令和4年度廿日市市社協法人後見事業の実施状況報告 | 29人 |
| 10/26 | 令和5年度上半期廿日市市社協法人後見事業の実施状況報告 | 25人 |

ウ 後見支援会議の開催

新規ケースへの対応や、受任後の対応等について審議(随時)した。

本会が成年後見人等候補者になることの適否について協議した。(1回)

エ 後見支援員養成研修の実施

現在活動中のかけはし支援員を対象に開催(年1回)

現況では法人後見を受任しているケースの多くは職員対応が望ましいため、後見支援員養成研修を実施していない。今後は市民後見人養成講座修了者の参加についても検討する。

オ 権利擁護グループ職員勉強会の開催

運営体制強化のため、かけはし所内会議等を活用し、後見実務に関する勉強会の実施、ケース検討や関連マニュアル等の整備を進めた。

全事務所の担当職員による事業担当者会議で、後見類型相当への移行が望まれるかけはし契約ケースについて協議、共有を行なった。今後、かけはしから法人後見事業へ移行するための事務マニュアルについて、過去の事例をもとに整備する。

カ 地域及び関係機関への広報

会議等で権利擁護について啓発活動を行なった。

| 開催日 | 内容 |
|-------|--|
| 6/21 | 【廿日市高齢者ケアセンター主催】 認知症高齢者への対応方法、社会福祉協議会の実施事業について(権利擁護に関することを含む) 説明者：市社協かけはし・法人後見担当職員 |
| 10/20 | 【廿日市高齢者ケアセンター主催】 認知症高齢者への対応方法、社会福祉協議会の実施事業について(権利擁護に関することを含む) 説明者：市社協かけはし・法人後見担当職員 |

キ 相談対応、申立支援

かけはし契約ケースの1件について、親族による申立に係る書類を、司法書士の親族と連携して作成し申立につなげた。(1件：令和6年4月に後見類型で法人後見事業として受任した)

ク かけはし利用者の後見等への移行

| | |
|--|--|
| | <p>成年後見制度の利用が適切と思われるかはし契約者について、担当ケアマネジャーをはじめとする関係機関職員と連携し、主治医の意見や親族の意向を確認して、適切かつ速やかに対応した。</p> <p>ケ 上記移行や受任について、成年後見利用促進センターとの連携や地域連携ネットワークの機能を必要に応じて活用</p> <p>法人後見事業の実施状況の報告や情報を、地域連携ネットワーク構成団体へ周知、共有した。</p> |
|--|--|

10 「重点」成年後見利用促進センター事業

目的 認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない人の権利を尊重し擁護することにより、地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図る。

実施内容 (1) 地域連携ネットワークの整備、中核機関の運営

- ア 廿日市市権利擁護支援地域連携ネットワーク推進会議(以下、「推進会議」) 定例会3回と、受任調整のために1回開催した。
- イ 相談窓口業務、推進会議の開催等、中核機関(廿日市市成年後見利用促進センター)を運営した。

【年度別実績】

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 広報対応件数 | — | 108件 | 49件 |
| 相談対応件数 | — | 178件 | 235件 |
| 後見支援対応件数 | — | 63件 | 65件 |
| 利用促進対応件数 | — | 14件 | 2件 |
| 連携対応件数 | — | 164件 | 186件 |
| 調査対応件数 | — | 79件 | 0件 |
| その他対応件数 | — | 21件 | 2件 |
| 合計 | — | 627件 | 539件 |

(2) 成年後見制度の利用促進、中核機関の機能強化への取組み。

ア 広報機能

(ア) 市民公開セミナーを開催した。

| 開催日 | 内容 | 参加者 |
|-------|--|--------------|
| 10/10 | テーマ：成年後見制度の『ホント』のはなし ～「不正防止」と「私らしい暮らし」～ 講師：弁護士 日野 真裕美 さん | 58人 ワライン含 |

(イ) 出前講座を開催した。

サロンや民児協、当事者団体、職能団体等との勉強会を随時開催した。

| 開催日 | 開催団体等 | 参加者 |
|-------|----------------------------------|-----|
| 4/7 | 相談支援事業所くさのみ職場研修会 | 10人 |
| 7/5 | 友和の里GH家族会及び職員勉強会 | 12人 |
| 10/11 | こぶし会おしゃべりサロン (佐伯地域精神障がい者の家族会) | 9人 |
| 12/7 | 心の絆 定例勉強会 | 7人 |

(ウ) チラシ作成やホームページ等への掲載により、成年後見利用促進センターの取り組みや専門相談会、セミナー実施等について広報した。

(エ) 廿日市市介護支援専門員協会勉強会で、ニーズ調査について報告会兼成年後見制度勉強会を開催した。(39人参加、情報提供事業所2件登録)

イ 相談機能

(ア) 専門相談会の開催

司法書士、社会福祉士等による成年後見制度に関する相談会及び、フジグラン

| | |
|------|---|
| | <p>ナタリーへの出前相談、市民公開講座後の専門相談会を行い、計 14 件について対応した。</p> <p>(イ) 相談支援機関からの相談対応、相談体制整備 専門職からの相談に対し、推進会議委員や県内相談機関と連携して対応した。</p> <p>(ウ) ケース会議への職員派遣 地域包括支援センターからの要請を受け、地域ケア会議及びケース会議に計 5 回出席した。</p> <p>ウ 利用促進機能</p> <p>(ア) 親族申立ての支援 専門相談会、窓口相談により手続きの支援、必要に応じた専門職へのつなぎなど支援した。</p> <p>(イ) 受任調整機能の整備 10 月開催の推進会議で手続等を整理し、11 月に 1 回目の受任調整会議を実施した。市長申立ての事案 3 件について協議し、成年後見人等候補者として専門職を推薦した。</p> <p>(ウ) 市民後見人養成について調査、準備 広島県主催の研修会への出席、広島市社会福祉協議会主催の市民後見人養成研修への視察など、他県他市町から情報収集を行なった。市担当課との協議、推進会議での議論を経て、令和 6 年度に実施する準備ができた。</p> <p>エ 後見人支援機能</p> <p>(ア) 親族後見相談会実施の検討 専門相談会を親族後見相談会と位置づけ、令和 6 年度から実施することとした。</p> <p>(イ) 後見人等の相談窓口、支援体制の検討 窓口相談で対応、支援した。</p> <p>(ウ) 市民後見人へのサポート体制についての検討 市内福祉関連団体、施設等との連携により、養成研修修了者の活躍支援について準備を進めることができた。</p> |
| 重点事項 | <p>(1) 市長申し立て案件に係る成年後見人等の受任調整機能を整備する。 ⇒10 月開催の推進会議で手続等を整理し、11 月に 1 回目の受任調整会議を実施した。市長申立ての事案 3 件について協議し、成年後見人等候補者として専門職を推薦した。(再掲)</p> <p>(2) 推進会議の機能を充実させ、取組みを可視化する。 ⇒ニュースレターを 1 回発行し、推進会議の構成団体及び所属団体へ活動の周知を図った。推進会議の構成団体である金融機関懇談会が広報活動について協力を表明され、金融機関窓口へのチラシ設置が実現することとなった。市民後見人養成研修、公開講座、親族後見人等相談会など、今後の取り組みに関する広報活動にも協力いただき、金融機関窓口で困られている市民に対して周知できる体制となった。また、令和 4 年度から、協議を続けていた緊急事務管理事業について、随時、推進会議でも意見交換し、令和 6 年度から実施とすることとした。</p> |

11 「重点」参加支援事業

| | |
|------|--|
| 目的 | <p>廿日市市における包括的な支援体制事業の一環として、複雑化、複合化した課題を抱える個人や世帯が、各分野で行われている既存の社会参加に向けた支援では対応できないニーズに対応するため、地域の社会資源などを活用して、社会とのつながりづくりに向けた支援を行うことを目的とする。</p> |
| 実施内容 | <p>(1) 重層的支援会議で支援が決定した対象者に対するサービス提供</p> <p>ア マッチング 対象事例がなかった。</p> <p>イ 定着支援及びフォローアップ 対象事例がなかった。</p> |

| | <p>ウ プランシート、評価シートの作成 対象事例がなかった。</p> <p>(2) 重層的支援体制整備事業に係る諸会議への出席 相談支援ネットワーク会議に出席した。(7/21、9/28、1/24)</p> <p>(3) 就労準備支援事業との情報共有及び連携 ア 企業見学ツアーを企画実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th colspan="2">内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/27</td> <td>ゆめタウン廿日市店</td> <td>株式会社 イワタ木工</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>10/13</td> <td>安芸グランドホテル</td> <td>カルビー広島工場</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>見学後、企業との関わりにより、1人就職することができた。</p> <p>イ 事業対象者の就労支援のため、職場見学、就労体験に協力してくれる市内の企業と協定を締結した。 職場見学受入企業：12社 就労体験受入企業：6社</p> <p>ウ 事業対象者の円滑な就労開始のため、入社に必要な物品の貸し出し等の環境整備を進めた。</p> <p>エ 広島県西部地域保健対策協議会が主催する「かかりつけ医と精神科医の連携のための研修会」と広島県西部保健所が主催する「地域自殺予防対策研修会」に参加し、医療機関をはじめとする関係機関とつながりを作ることができた。</p> <p>(4) 廿日市市における各種事業と情報共有及び連携した。</p> | 開催日 | 内 容 | | 参加者 | 9/27 | ゆめタウン廿日市店 | 株式会社 イワタ木工 | 6人 | 10/13 | 安芸グランドホテル | カルビー広島工場 | 6人 |
|-------|---|------------|-----|--|-----|------|-----------|------------|----|-------|-----------|----------|----|
| 開催日 | 内 容 | | 参加者 | | | | | | | | | | |
| 9/27 | ゆめタウン廿日市店 | 株式会社 イワタ木工 | 6人 | | | | | | | | | | |
| 10/13 | 安芸グランドホテル | カルビー広島工場 | 6人 | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>組織内のそれぞれの部署で管理している社会資源を可視化し、情報を共有することで、支援の選択肢を増やす。 ⇒情報共有のためのアプリケーション作成を検討した。</p> | | | | | | | | | | | | |

12 情報支援事業

| | |
|------|---|
| 目 的 | <p>視覚・聴覚障がい者が情報支援を受けることによって、社会参加の機会を広げる。また、地域での担い手養成に努める。</p> |
| 実施内容 | <p>(1) 奉仕員養成講座の実施 ア 視覚障がい者の情報支援をするため、音訳に関心のある人を募集し、音訳奉仕員養成講座を行なった。 9/2～11/4まで10回実施。参加者11人 さくらんぼ登録者 9人 イ 活動中の手話奉仕員のレベルアップのために、手話奉仕員フォローアップ講座を実施した。 2/1開催。参加者15人 ウ 利用者の声を反映させるため、音訳奉仕員(さくらんぼの会)の連絡会を7/6に開催し、音訳マニュアルの改訂に関して意見聴取・協議・改定を行なった。</p> <p>(2) 視覚障がい者ヘデージー図書、音訳テープ、点訳本による情報提供をした。 ア 広報はつかいち、市議会だより、あいとぴあ、さくらびあ物語、その他の刊行物の音訳、点訳により提供した。リスナー:音訳3人、点訳1人</p> <p>(3) 市、各団体から依頼された講演会、会議等へ要約筆記奉仕員を派遣した。 要約筆記団体派遣 15件</p> |

13 精神障がい者福祉推進事業

| | |
|------|--|
| 目 的 | <p>精神保健福祉についての理解者や支援者を増やす。当事者のニーズに応じた研修会を行い、地域での支援体制づくりを進める。</p> |
| 実施内容 | <p>(1) 当事者支援をした。 ア 精神保健福祉サロン「ちゅうりっぷの会」の活動支援(佐伯地域) チラシ等の作成支援・配布及び参加者への周知(12回開催) イ ソーシャルクラブ「プラム」のボランティア調整(大野地域) 45人をボランティア活動へと繋げた。</p> <p>(2) ボランティア養成をした。</p> |

| | | |
|--|--|-----|
| ア 精神保健福祉(ボランティア)講座の企画開催 (廿日市、佐伯、大野) | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
| 1/25 | テーマ：思春期のストレスマネジメント ～こころの成長・こころの病気～ 講 師：看護師 公認心理師 ANJ実践リーダー 鈴木 ちさ さん | 47人 |
| (3) 精神保健福祉ボランティア活動を支援した。 | | |
| ア 「ねこの手」の活動支援(廿日市地域) 2か月に一度開催されている「ねこの手」の活動周知や会へ参加をした。 | | |
| イ 「プラム」ボランティアの活動支援(大野地域) (1) イと同様に、45人ボランティア調整を行なった。 | | |
| (4) 家族会の支援をした。 | | |
| ア おしゃべりサロン「こぶし会」への参画(佐伯地域) 5回(5/10・7/12・10/11・12/6・3/13)参画した。 | | |

| 14 障がい児者福祉推進事業 | | | | | | | | |
|--|--|--|-----|-----|-----|--|---|-----|
| 目 的 | 障がいのある人たちが地域で豊かな生活ができるよう、ボランティアや地域の人との出会いの場面をつくり、社会参加を促進するとともに、地域の中で障がいに対する理解を深め合えるような地域づくりを進める。 | | | | | | | |
| 実施内容 | 廿 (1) 当事者活動の支援 障がい児者が社会生活で役立つ知識や自立に必要な経験などを学べる場を開催した。 | <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>1/30</td> <td> テーマ：なかなか聞けない知的・発達障がい児の性 のはなし 講 師：コンサルテーションサポート 森の入り口 金丸 博一 さん </td> <td>18人</td> </tr> </table> | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 1/30 | テーマ：なかなか聞けない知的・発達障がい児の性 のはなし 講 師：コンサルテーションサポート 森の入り口 金丸 博一 さん | 18人 |
| | 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | |
| 1/30 | テーマ：なかなか聞けない知的・発達障がい児の性 のはなし 講 師：コンサルテーションサポート 森の入り口 金丸 博一 さん | 18人 | | | | | | |
| (2) 障がい児・者理解の促進 はつかいち福祉ねっとやボランティア団体と連携し、障がいのある人が地域で豊かな生活を送るために、障がいの特性や共生について等、地域住民の理解を深めるための学習会を開催した。 | <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>8/2</td> <td> テーマ：障がいがあるってどういうこと？ 講 師：広島県手をつなぐ育成会 あび隊 </td> <td>10人</td> </tr> </table> | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 8/2 | テーマ：障がいがあるってどういうこと？ 講 師：広島県手をつなぐ育成会 あび隊 | 10人 | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | |
| 8/2 | テーマ：障がいがあるってどういうこと？ 講 師：広島県手をつなぐ育成会 あび隊 | 10人 | | | | | | |
| 実施内容 | 佐 (1) 障がい児地域支援体制の充実 関係機関と連携し、未就学から成人それぞれのライフステージでどのような支援や関わりが必要なのかを協議し、当事者及びその家族の支援をした。 ア 療育相談会の開催(未実施) イ 市民センターとの共催による、障がい児対象の交流及び勉強会を開催した。 ウ ライフステージに応じた学習会を開催した。 | <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>12/9</td> <td> テーマ：適切な距離を知ろう！ ～異性との距離感や接し方～ 講 師：一般社団法人 広島学びのサポートセンター 橘 直哉 さん </td> <td>23人</td> </tr> </table> | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 12/9 | テーマ：適切な距離を知ろう！ ～異性との距離感や接し方～ 講 師：一般社団法人 広島学びのサポートセンター 橘 直哉 さん | 23人 |
| | 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | |
| 12/9 | テーマ：適切な距離を知ろう！ ～異性との距離感や接し方～ 講 師：一般社団法人 広島学びのサポートセンター 橘 直哉 さん | 23人 | | | | | | |
| (2) わんぱく旅行実行委員会の支援 当事者家族からの聞き取りを十分に行い、内容を検討した。 事業は一旦終了とし、新しい支援に向けたニーズ調査を親の会に対してヒアリングを行なった。 | | | | | | | | |

| | 吉 | (1) 廿日市市障害者福祉協会吉和支部の活動支援 事務局として、会計事務や活動支援を行なった。(総会：4/15、障がい者ふれあいスポーツ大会：9/3、社会参加バスハイク：11/8 など) | | | | | | | | | | | | |
|------|--|--|-----|-----|-----|------|--|-----|-----|-----|-----|------|--|----|
| | 大 | <p>(1) 当事者活動の支援</p> <p>ア ハーモニーOB、OG会(当事者の会)の活動(2区さわやかサロンにてお味噌汁作り)を支援し、あいとびあて活動を紹介した。</p> <p>(2) 障がいのある子どもをもつ親の会の支援</p> <p>ア 「おしゃべり会」を開催した。11回延べ82人参加 (4/19、5/9、6/14、7/12、9/13、10/24、11/14、12/13、1/31、2/27、3/13)</p> <p>イ 未就学児及び就学児を対象とした学習会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="472 517 1394 792"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/31</td> <td> テーマ：就労に向けての準備 ～子どもが仕事を選択するとき～ 講 師：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ 平原 梨沙 さん 広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ 田村 優子 さん </td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 個別相談会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="472 831 1394 1025"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/31</td> <td> 相談員：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ 平原 梨沙 さん 広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ 田村 優子 さん </td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 大野障がい者団体連絡協議会の活動支援 会議に参加し(6/29)、「小さな夏まつり」の開催について協議したが、新型コロナウイルス感染症の制限解除から間もないため利用者の安全を考慮し、中止を決定した。また、施設関係者の勉強会についても協議し、次年度への勉強会などの意見交換を行なった。 当事者、家族、事業所、関係団体等誰もが参加できる勉強会を10回開催した。参加者：延べ96人</p> | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 1/31 | テーマ：就労に向けての準備 ～子どもが仕事を選択するとき～ 講 師：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ 平原 梨沙 さん 広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ 田村 優子 さん | 18人 | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 1/31 | 相談員：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ 平原 梨沙 さん 広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ 田村 優子 さん | 9人 |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | |
| 1/31 | テーマ：就労に向けての準備 ～子どもが仕事を選択するとき～ 講 師：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ 平原 梨沙 さん 広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ 田村 優子 さん | 18人 | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | |
| 1/31 | 相談員：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ 平原 梨沙 さん 広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ 田村 優子 さん | 9人 | | | | | | | | | | | | |
| | 宮 | <p>(1) 当事者活動の支援やその家族への支援</p> <p>ア 地域で障がいに対する理解を深め合えるよう各団体と情報共有に努めた。</p> <p>イ 各事務所の事業担当者で今後の当事者支援の在り方について協議した。</p> <p>(2) 廿日市市障害者福祉協会宮島支部の活動支援</p> <p>ア 障がいのある人たちの社会参加につながる歩行訓練や交流会等の活動を支援した。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | 佐 | <p>関係機関と連携し、未就学から成人それぞれのライフステージでどのような支援や関わりが必要なのかを協議し、事業に取り組む。 ⇒ライフステージごとの支援を想定し家族に聞き取りを行ない、成人への支援を中心に講演会を実施した。</p> | | | | | | | | | | | | |
| | 大 | <p>障がいに対する理解者を増やすために、おしゃべり会や学習会で当事者家族の声を聞き、ボランティアニュースで発信する。 ⇒ボランティアニュースでおしゃべり会や勉強会の周知をした。また、小・中学校へのチラシ配布により昨年参加延べ人数が増加した。</p> | | | | | | | | | | | | |

15 福祉総合相談事業

| | |
|-----|--|
| 目 的 | 地域住民の抱える各種の問題について広く相談に応じ、その問題解決を図るために、医療・福祉・行政機関等と連携して問題解決への情報提供を行う。併せて、相談者のニーズに応じた各種事業の実施や地域ニーズに見合った福祉サービスの創設につなげる。 |
|-----|--|

実施内容

(1) 各種相談を実施した。

ア 福祉総合相談(全域：平日毎日)

イ 心配ごと相談

| 地域 | 開催日時 | 場 所 | 開催回数 | 相談件数 |
|-----|------------------------|-----------------------------------|------|------|
| 廿日市 | 毎週火・金曜日 13:00～16:00 | 廿日市市総合健康福祉センター (山崎本社みんなのあいプラザ) | 101回 | 148件 |
| 佐伯 | 毎週水曜日 13:00～16:00 | 佐伯社会福祉センター | 47回 | 10件 |
| 吉和 | 第2・4月曜日 13:00～16:00 | 吉和福祉センター (すこやかプラザ) | 21回 | 1件 |
| 大野 | 毎週木曜日 13:00～16:00 | 第1,2,4,5木曜：大野支所 第3木曜：大野東市民センター | 50回 | 28件 |
| 宮島 | 第1・3月曜日 13:00～16:00 | 宮島福祉センター | 21回 | 7件 |

ウ 司法書士法律相談

| 項 目 | 協力機関・団体 | 開催回数 | 相談件数 |
|--------------|--------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 司法書士 法律相談 | 広島司法書士会広島西支部 | 合計12回 (廿)計8回 (佐)計2回 (大)計2回 | 合計55件 (廿)計39件 (佐)計6件 (大)計10件 |

エ 認知症介護相談(廿：毎月第2火、大：毎月第4火)

| 項目 | 協力機関・団体 | 開催回数 | 相談件数 |
|-------------|------------|-----------------------------|----------------------------|
| 認知症 介護相談 | 認知症の人と家族の会 | 合計23回 (廿)計11回 (大)計12回 | 合計20件 (廿)計1件 (大)計19件 |

(2) 心配ごと相談員研修を実施した。

ア 心配ごと相談員研修を開催し、心配ごと相談員のスキルアップに努めた。

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|---|-----|
| 8/25 | 【全域】 テーマ：電話による相談援助技術の基本及び電話相談 の実際 講 師：社会福祉法人広島いのちの電話 事務局 次長 西野 とし子 さん | 30人 |

イ ケース検討を実施した。(廿：年3回)

相談ケースに対する意識合わせや相談時の悩み解消に努めた。また、相談員の退任に伴い新規相談員に対する業務説明を行なった。

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|---|-----|
| 6/30 | 講 座：カウンセリングによる心理支援の現状 講 師：一般社団法人 広島学びのサポートセンター 理事 橘 直哉 さん | 6人 |
| 9/29 | 講 座：精神保健分野における相談支援 講 師：廿日市市障がい福祉相談センター きらりあ 専門相談員 今田 聡 さん | 7人 |
| 3/22 | 心配ごと相談員 退任式及び引継ぎ会 | 11人 |

(3) 相談窓口を周知した。

ア 小冊子「くらしの相談」を市全域の民生委員児童委員に配布し、必要に応じて地域住民にも配布し、相談窓口の周知に努めた。

イ 市社協ホームページの情報更新。

(4) 相談の解析

| | <p>ア 年度の相談回数・内容を全域において集計し、相談傾向について分析した。 【年度別実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心配ごと相談件数</td> <td>121件</td> <td>242件</td> <td>194件</td> </tr> <tr> <td>司法書士法律相談件数</td> <td>49件</td> <td>46件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>認知症介護相談件数</td> <td>6件</td> <td>16件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 心配ごと相談件数 | 121件 | 242件 | 194件 | 司法書士法律相談件数 | 49件 | 46件 | 55件 | 認知症介護相談件数 | 6件 | 16件 | 20件 |
|------------|--|-------|-------|-------|-------|----------|------|------|------|------------|-----|-----|-----|-----------|----|-----|-----|
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 心配ごと相談件数 | 121件 | 242件 | 194件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 司法書士法律相談件数 | 49件 | 46件 | 55件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 認知症介護相談件数 | 6件 | 16件 | 20件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>佐 佐伯地域の広報紙「ひまわり日和」での周知や福祉施設、民児協、コミュニティ等へ各種相談事業について情報発信する。 ⇒佐伯地域の広報紙「ひまわり日和」や福祉委員会議等諸会議で「どこに相談したらいいかわからないときは社協へ」と身近な相談窓口として周知した。</p> <p>大 相談者が安心して相談を受けることができるよう、心配ごと相談員のフォローアップとして、研修や事例検討会等を行う。 ⇒講師に司法書士を招き相続登記の義務化について研修や事例検討会を行い、相談員のスキルアップと共に日々の相談に活かすことが出来た。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 16 ファミリー・サポート・センター事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|-----|-----|------|-----|----|----|--|-----|----|----|-----|----|--|-----|----|----|----|----|--|------|-----|----|-----|----|--|-----|----|----|----|----|------|------|-----|----|-----|----|------|------|-----|----|------|-----|------|-----|----|----|-----|----|--|-----|----|----|----|----|------|-----|----|----|----|----|------|-----|----|----|-----|----|------|----|----|----|----|----|--|-----|----|----|----|----|----|------|-----|----|-----|----|----|------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|------|--------|-----|------|--------------------------|-----|
| 目的 | 地域の中で顔見知りや知り合いを増やし、困ったときの助け合いが気軽にできるようになることを目指す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) サポートの調整をした。</p> <p>提供会員と依頼会員のマッチング件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>廿日市</th> <th>佐伯</th> <th>吉和</th> <th>大野</th> <th>宮島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>31件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>24件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) センターの運営をした。</p> <p>ア 相談受付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>廿日市</th> <th>佐伯</th> <th>吉和</th> <th>大野</th> <th>宮島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>163件</td> <td>10件</td> <td>0件</td> <td>34件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 会員登録・管理</p> <p>登録会員者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>廿日市</th> <th>佐伯</th> <th>吉和</th> <th>大野</th> <th>宮島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供会員</td> <td>140人</td> <td>13人</td> <td>3人</td> <td>81人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員</td> <td>334人</td> <td>29人</td> <td>0人</td> <td>154人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>18人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>13人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>廿日市</th> <th>佐伯</th> <th>吉和</th> <th>大野</th> <th>宮島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供会員</td> <td>11人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員</td> <td>33人</td> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>21人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>休会を含めた全登録会員に向けて、継続確認を行なった。</p> <p>ウ 活動報告の管理</p> <p>活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>廿日市</th> <th>佐伯</th> <th>吉和</th> <th>大野</th> <th>宮島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児</td> <td>325件</td> <td>10件</td> <td>0件</td> <td>10件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>家事</td> <td>749件</td> <td>62件</td> <td>0件</td> <td>60件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 研修・交流会の企画・実施</p> <p>ア 活動を安心安全に行うため、提供会員への研修会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/15</td> <td>フレイル予防</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>6/19</td> <td>イマドキのいのちのハナシ～性教育をアップデート!</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> | | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | 31件 | 4件 | 0件 | 24件 | 1件 | | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | 163件 | 10件 | 0件 | 34件 | 3件 | | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 提供会員 | 140人 | 13人 | 3人 | 81人 | 6人 | 依頼会員 | 334人 | 29人 | 0人 | 154人 | 14人 | 両方会員 | 18人 | 2人 | 0人 | 13人 | 4人 | | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 提供会員 | 11人 | 1人 | 0人 | 5人 | 0人 | 依頼会員 | 33人 | 7人 | 0人 | 21人 | 2人 | 両方会員 | 0人 | 1人 | 0人 | 0人 | 0人 | | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 育児 | 325件 | 10件 | 0件 | 10件 | 0件 | 家事 | 749件 | 62件 | 0件 | 60件 | 1件 | 開催日 | 内容 | 参加者 | 5/15 | フレイル予防 | 13人 | 6/19 | イマドキのいのちのハナシ～性教育をアップデート! | 18人 |
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31件 | 4件 | 0件 | 24件 | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 163件 | 10件 | 0件 | 34件 | 3件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 提供会員 | 140人 | 13人 | 3人 | 81人 | 6人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 依頼会員 | 334人 | 29人 | 0人 | 154人 | 14人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 両方会員 | 18人 | 2人 | 0人 | 13人 | 4人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 提供会員 | 11人 | 1人 | 0人 | 5人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 依頼会員 | 33人 | 7人 | 0人 | 21人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 両方会員 | 0人 | 1人 | 0人 | 0人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 育児 | 325件 | 10件 | 0件 | 10件 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家事 | 749件 | 62件 | 0件 | 60件 | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5/15 | フレイル予防 | 13人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6/19 | イマドキのいのちのハナシ～性教育をアップデート! | 18人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|-------|--|------|
| 7/21 | 認知症サポーター養成講座 | 16人 |
| 7/31 | 救命講習会 | 7人 |
| 8/3 | 食中毒予防 | 7人 |
| 8/20 | 今からはじめるボランティア | 6人 |
| 8/20 | 障がいがあるってどういうこと？ | 5人 |
| 9/22 | 暮らしと人とのつながり～まずは自分を知ることから～ | 16人 |
| 10/20 | 認知症サポーターステップアップ講座 | 12人 |
| 11/16 | 暮らしと健康～だれでも今からできる健康習慣～ | 15人 |
| 11/16 | 子育てサポーター養成講座 | 4人 |
| 11/22 | 幼少期から思春期までの年齢に応じた身につけておきたい力 | 16人 |
| 12/5 | 地域活動の楽しみかた | 16人 |
| 12/7 | リスクマネジメント研修 | 14人 |
| 12/10 | 認知症とともに生きる | 108人 |
| 12/15 | 救急救命講習 | 10人 |
| 12/21 | 認知症の人へのかかわり方 | 77人 |
| 1/22 | アフターバースプラン、ご存じですか？ ～幸せな妊娠・産後生活のために～ | 6人 |
| 1/25 | 思春期のストレスマネジメント ～こころの成長・こころの病気～ | 47人 |
| 2/21 | 骨粗鬆症予防講座 | 11人 |

イ 両会員の親睦を深めるため交流会を開催した。

| 開催日 | 内容 | 参加者 |
|------|----------------------------|-----|
| 7/27 | お互いさま活動の輪～みんなで楽しくお話しませんか？～ | 15人 |

ウ 提供会員・民生委員児童委員・ボランティア連絡協議会・かけはし生活支援員・地域でのささえあい活動に関心のある人などへ周知を行なった。

(4) 活動の周知をした。

ア ファミサポだよりNo.32、No.33 を発行した。

イ あいとびあ No. 133 へ掲載した。

ウ ボランティアニュース 12月号へ掲載した。

エ 地域での集いの場面等で周知した。

| 開催日 | 周知の場 |
|-------|----------------------------|
| 9/26 | 佐方西ブロックお茶の会 |
| 10/11 | 佐方市民センター |
| 6/30 | 障害者福祉協会宮島支部総会 |
| 9/22 | いきいき百歳体操(宮島まちづくり交流センター杉之浦) |
| 3/15 | 宮島地域コミュニティ推進協議会合同部会 |

【年度別実績】

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 相談受付(合計) | 49件 | 167件 | 210件 |
| 登録提供会員(合計) | 319件 | 332件 | 243件 |
| 登録依頼会員(合計) | 551件 | 508件 | 541件 |
| 活動実績 育児(合計) | 377件 | 336件 | 345件 |
| 活動実績 家事(合計) | 760件 | 684件 | 872件 |

重点事項

佐 佐伯地域の提供会員の交流会を開催し、会員同士の情報交換や親睦を図る。
⇒佐伯地域の提供会員を対象に座談会を開催し、日頃の活動について感じていること悩みなどを共有し、交流した。

| 開催日 | 内容 | 参加者 |
|-----|----|-----|
|-----|----|-----|

| | | | |
|---|--|--|----|
| | 6/28 | (1) 講習会：おいしいコーヒーの淹れ方 講師：コーヒーマイスター 蛇蝮 純子 さん (2) 座談会：自己紹介、日々の活動について気軽に語り合い、モチベーションアップを図った。 | 6人 |
| 大 | (1) 身近な活動であることを知ってもらうため、ボランティアニュースに掲載(2回)し、多くの人に周知する。 ⇒ボランティアニュースへ1回、ファミサポ便りを8月2月に掲載した。地域の活動者の声を掲載することで周知が出来、顔合わせ等の訪問が昨年より20件増え、そのうち2件は再依頼でありマッチングできた。 (2) 他事業と研修等を共催(年10回)し、活動を安心して行えるような環境を作る。 ⇒自分力アップ応援プログラムを10回開催し、様々な研修を他事業と実施することで他の活動者との交流、意見交換ができた。 | | |
| 宮 | 商工会青年部の会議や乳幼児等の保護者が集まる場に訪問し、事業の周知を進め登録会員の増加を図る。 ⇒障害者福祉協会宮島支部の総会、百歳体操、コミュニティ推進協議会などで周知した。また、歳末みまもり事業で、ひとり暮らし高齢者等を約100件訪問した際にファミサポのちらしを見せながら1人ずつ説明を行い、2件の新規会員登録と1件の実績につながった。 | | |

17 福祉車両貸出事業

| | | | |
|------|---|---|--|
| 目的 | 身体上の障がいなどによって、移動手段が一般車両では困難な人に対して移動の支援を目的とし、福祉車両を貸し出す。 | | |
| 実施内容 | (1) 市の運行要綱に沿った事業推進と利用者の公平な利用の促進に努めた。 (2) 依頼時の運転ボランティアと利用者をコーディネートした。 コーディネート件数7件 (3) 日々の利用後の車両点検と定期的なメンテナンスをした。 利用後の確認が充分ではなく、内部カバーが外れていたことがあり、応急処置で対応した。(4/19) (4) サロン、集いの場、広報紙での事業の周知は未実施。 | | |
| 重点事項 | 佐 | 利用促進のために広報紙への掲載や地域の福祉委員会、サロン等で事業を周知する。 ⇒広報紙「ひまわり日和」へ事業の紹介を2回掲載し、また地域の諸会議(民協、サロン)等で事業紹介を行なった。 | |
| | 大 | 福祉車両の利用の周知と車両の適正な管理を行う。 ⇒地域広報誌等で周知を図り、適宜車両点検や管理を行なった。 | |

18 障がい児者指定居宅等介護事業

| | | | |
|------|---|-----|-----|
| 目的 | 障がいのある人たちが地域で安心して生活できることを目的とし、自立の支援を行う。 | | |
| 実施内容 | (1) 在宅の障がい児者にヘルパー派遣 ア 自宅での支援(身体介護・家事支援・重度訪問介護)(2262.5時間) イ 通院介助(170時間) ウ 行動援護(1227時間) エ 移動支援(4524.5時間) (2) 虐待防止委員会の開催 訪問介護センターの虐待防止委員会を開催した。 (3) 介護職員の研修実施研修 所属する介護職員を対象に研修を実施した。 | | |
| | 開催日 | 内 容 | 参加者 |

| | | | |
|--|-----------|---------------------------|-----|
| | 9/11・9/25 | 救命講習 | 20人 |
| | 3/3 | スキルアップのための研修(てんかん発作・感染予防) | 19人 |
| | 3/7 | 虐待防止に関する研修 | 35人 |
| (4) 事業継続計画(BCP)の策定 訪問介護センターの事業継続計画(BCP)を策定した。 | | | |

19【新規】(佐)認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

| | | | |
|------|---|---|-----|
| 目 的 | 認知症高齢者を介護する家族の負担を軽減するため、在宅の援護を要する認知症高齢者及び家族等の生活の質の確保を図り、やすらぎのある時間を提供する。 | | |
| 実施内容 | (1) 相談受付 利用希望者等からの問い合わせにより、相談を受け付けた。 | | |
| | (2) 事前訪問 利用希望者宅を訪問し、事業説明及びアセスメントを実施した。 | | |
| | (3) 支援の調整 利用者宅にやすらぎ支援員(2人1組)を派遣 | | |
| | 利用者数 | 1人 | |
| | やすらぎ支援員登録者数 | 9人 | |
| | やすらぎ支援員活動者数 | 4人 | |
| | 利用回数 | 16回 | |
| 重点事項 | (4) やすらぎ支援員交流会の実施(年1回) 佐伯地域の支援員を対象に交流会を開催し、会員同士のつながりづくりや日々の活動について情報交換・共有を図った。 | | |
| | 開催日 | 内 容 | 参加者 |
| | 12/12 | (1) 講習会：認知症について ～佐伯の取り組み認知症カフェの紹介～ 講 師：包括支援センターさいき 岡 彩香 さん (2) 座談会：自己紹介、日々の活動について気軽に語り合う | 9人 |
| | 利用促進のために広報紙、民児協定例会、サロン等で積極的に事業周知を行う。 ⇒佐伯地域の広報紙「ひまわり日和」への掲載や福祉委員会議等諸会議で事業紹介をし、周知した。 | | |

20 (吉)障がい者社会参加促進事業

| | | | |
|------|---|-------|-------|
| 目 的 | 障がい者の就労施設がない吉和地域で、知的障がい者に日常生活に必要な訓練や行き場を提供し、在宅で暮らす障がい者の自立と社会参加を促す。また、ボランティアや吉和小中学校の児童生徒との交流を図り、障がい者に対する理解と障がい者福祉の増進を図る。 | | |
| 実施内容 | 知的障がい者の行き場づくり、在宅で暮らす障がい者の自立や社会参加、ボランティアや地域住民との交流を図るため、生活訓練教室、地域社会交流事業を行なった。 | | |
| | (1) 知的障がい者生活訓練教室の開催 日常生活訓練教室を開催、年間 24 回開催を予定していたが、22 回の開催となった。延べ参加者数は 89 人となった。 内容：ハンドベル・散歩・美術館見学・こんにやくづくりなど 【年度別実績】 | | |
| | 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| | 開催回数 | 10回 | 21回 |
| | 延べ参加者 | 43人 | 76人 |
| | | 89人 | |
| 重点事項 | (2) 障がい者スポーツ教室の開催 障がい者スポーツ教室を開催し、障がい者スポーツ体験やさまざまな車いすなど体験し障がい者の理解と交流を図った。(保育園児1人、小学生6人、中学生2人、保護 | | |

者等 8 人、障がい者 2 人)

【年度別実績】

| 項目 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 開催日 | 中止 | 中止 | 8/26 |
| 延べ参加者 | — | — | 19 人 |

(3) 障がい者地域社会交流事業の開催

障がい者地域社会交流事業を実施した。(当事者 14 人、ボランティア 6 人、社協 2 人)

【年度別実績】

| 項目 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 開催日 | 11/19 | 11/16 | 11/8 |
| 延べ参加者 | 15 人 | 10 人 | 22 人 |

基本目標 2

誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます

近年の気候変動や新型コロナウイルスの感染拡大は、それまで営んできた生活に大きな影響を及ぼし、福祉課題・生活課題を抱えざるを得ない状況になる世帯、人達が増えてきています。そして、子育て家庭の孤立や青少年の不登校やいじめ、若年無業者、ヤングケアラーの問題など、制度サービスで解決しにくい生活課題を抱えた人がさらに生活しづらい環境となっています。

また、家族や親族、職場などのセーフティネットの機能が弱まったことにより、生活課題を抱える人たちに「気づける」つながりがより希薄になっています。個々の抱える生活課題の解決には、課題を抱えている人が暮らしている地域の住民のみなさんの力が欠かせません。

本会では、一人ひとりが主役の誰もが暮らしやすい地域づくりを進めるため、身近な地域での住民同士のつながりづくりを応援し、生活課題を抱えている人を地域でどう支えていくか、専門機関や地域にあるさまざまな社会資源とも連携しながら一緒に考えました。

廿日市地域では、制度の狭間にいる人や社会との接点を持つことが難しい人に対し、本人が社会とつながるきっかけづくりを行いました。また、地域の皆さんの力を借りながら必要な活動をすすめました。

佐伯地域では、地域福祉活動事業を重点的に取組みました。地区別の福祉委員会議の充実及び、サロン訪問等を積極的に行う中で、地域の課題を共有し、共に考える機会を作ることで、住民同士が気かけ合い、支え合える地域づくりをすすめました。

吉和地域では、いきいき活動推進事業を重点的に取組み、地域や関係機関と連携し地域の課題解決力を高めるとともに、地域のつながりや気かけあう関係づくりを推進し、市が実施する「吉和地域暮らしのDX推進実証実験」に参加し高齢者の見守り体制の強化に努め、生涯暮らし続けられる地域づくりをすすめました。

大野地域では、引き続き、ふれあいのまちづくり推進事業を重点的に取組みました。現行の福祉サービスだけでは解決できない福祉ニーズを、地域の福祉を推進する関係機関等と連携し、地域の中で解決できるよう新たな取組みやしくみを創出することで、だれもが住み慣れた地域で暮らし続けることができる住民主体の地域づくりをすすめました。

宮島地域では、高齢者自立支援事業を重点的に取組み、対象者の介護予防・健康増進に努めるとともに、コロナの影響により地域で孤立し閉じこもりがちになっているひとり暮らし高齢者の孤立感緩和や見守り活動を行い、住み慣れた宮島で安心して暮らせるよう各事業の推進に努めました。

この基本目標に向けて実施した事業は次のとおりです。

| 事業名 | 第3期廿日市地域福祉活動計画との関連性 | 決算額 (千円) | 財源 | | | |
|--|---------------------|-------------|----|----|----|-----|
| | | | 自主 | 補助 | 委託 | その他 |
| 1 福祉人材育成事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 684 | | ○ | | ○ |
| 2 地域のつどいの場立上げ支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 695 | | | ○ | |
| 3 広報啓発事業 | 活動方針Ⅳ／推進事項3 | 2,268 | ○ | | | ○ |
| 4 災害救援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 90 | | | | ○ |
| 5 <input checked="" type="checkbox"/> 生活支援体制整備事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 32,547 | | | ○ | ○ |

| | | | | | | | |
|----|---------------------|----------------------------|-------|---|---|---|---|
| 6 | 福祉団体等支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 2,563 | ○ | | | ○ |
| 7 | 認知症高齢者等支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 3,523 | ○ | | ○ | ○ |
| 8 | 地域のつどい・サロン支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 596 | ○ | | | ○ |
| 9 | 日本赤十字社活動資金募集協力事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 1,459 | | | ○ | |
| 10 | 共同募金運動協力事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | - | | | | |
| 11 | (廿)ボランティアセンター活動推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 793 | ○ | ○ | | ○ |
| 12 | (廿)ささえあいのまちづくり推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 416 | ○ | | | ○ |
| 13 | ☑(佐)地域福祉活動事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 142 | ○ | | | ○ |
| 14 | (佐)ボランティアセンター活動推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 148 | | | | ○ |
| 15 | (吉)多機能サロン実施事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 309 | ○ | | | ○ |
| 16 | ☑(吉)いきいき活動推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 322 | ○ | | | ○ |
| 17 | (吉)すこやかプラザまつり開催事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 活動方針Ⅲ／推進事項2 | 25 | ○ | | | ○ |
| 18 | (吉)ボランティアセンター活動推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 30 | | ○ | | ○ |
| 19 | ☑(大)ふれあいのまちづくり推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 活動方針Ⅳ／推進事項1 | 5,611 | ○ | | | ○ |
| 20 | (大)ボランティアセンター活動推進事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 195 | | | | ○ |
| 21 | (大)高齢者等移送サービス事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 | 300 | | | | ○ |
| 22 | ☑(宮)高齢者自立支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 259 | ○ | | | ○ |
| 23 | (宮)福祉コミュニティ支援事業 | 活動方針Ⅰ／推進事項1 活動方針Ⅰ／推進事項2 | 13 | ○ | | | ○ |

各事業の詳細については、次のとおりです。

| 1 福祉人材育成事業 | | | | | | | | | | |
|------------|---|-----|----|-----|------|-----------|-----|------|--------------|-----|
| 目的 | 住民が安心して、福祉・介護のサービスを受けながら廿日市市で暮らしていくため、福祉・介護人材の確保、育成、定着に向けた取組みを関係機関と協働して推進する。 | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 廿日市市福祉・介護人材確保等総合支援協議会の運営</p> <p>ア 福祉・介護人材確保協議会「代表者会議」を開催した。</p> <p>イ 福祉・介護人材確保等総合支援協議会「社会福祉法人部会」を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/19</td> <td>第1回 代表者会議</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>5/15</td> <td>第1回 社会福祉法人部会</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人材マッチング・情報発信(イメージアップ)</p> <p>ア 求人ポスター掲示については、希望法人が集まらず実施に至らなかった。</p> <p>イ ハローワークと連携した取組み 廿日市市 福祉・介護人材セミナーに参画した。(11月) (ハローワーク廿日市・廿日市高齢者ケアセンター・廿日市市共催)</p> | 開催日 | 内容 | 参加者 | 6/19 | 第1回 代表者会議 | 17人 | 5/15 | 第1回 社会福祉法人部会 | 17人 |
| 開催日 | 内容 | 参加者 | | | | | | | | |
| 6/19 | 第1回 代表者会議 | 17人 | | | | | | | | |
| 5/15 | 第1回 社会福祉法人部会 | 17人 | | | | | | | | |

| <p>ウ FMはつかいち「はつぴいたいむ」の放送 毎月第1、第3木曜日 13:30~13:45、本会が担当するラジオ番組に施設・事業所の職員が出演し、福祉、介護の魅力を発信した。</p> <table border="1"> <tr> <th>実施回数</th> <th>のべ出演者数</th> </tr> <tr> <td>24回</td> <td>17人</td> </tr> </table> <p>※9月からは第1木曜日にもみじケア株式会社吉村隆裕さん、第3木曜日にリーフラス株式会社加藤智也さんがレギュラー出演した。</p> <p>エ 山陽女学園のボランティア活動を通じて社会とつながるカリキュラム「スーパーサタデー」内で、講座を行なった。</p> <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>9/27</td> <td>テーマ：「福祉の魅力発信」 講 師：もみじケア株式会社 吉村 隆裕さん</td> <td>58人</td> </tr> </table> <p>(3) 職員の定着・育成</p> <p>ア 中堅職員研修 協議会で希望が出ず、開催を見送った。</p> <p>イ 施設職員相互研修 市内の福祉施設の職員が他の施設で職場体験を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <th>受け入れ施設数</th> <th>実習人数</th> </tr> <tr> <td>6施設</td> <td>9人</td> </tr> </table> <p>(4) 社会福祉士養成校から実習生を受け入れた。</p> <table border="1"> <tr> <th>施設数</th> <th>実習人数</th> </tr> <tr> <td>3校</td> <td>5人</td> </tr> </table> | 実施回数 | のべ出演者数 | 24回 | 17人 | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 9/27 | テーマ：「福祉の魅力発信」 講 師：もみじケア株式会社 吉村 隆裕さん | 58人 | 受け入れ施設数 | 実習人数 | 6施設 | 9人 | 施設数 | 実習人数 | 3校 | 5人 |
|---|--|--------|-----|-----|-----|-----|-----|------|--|-----|---------|------|-----|----|-----|------|----|----|
| 実施回数 | のべ出演者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24回 | 17人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9/27 | テーマ：「福祉の魅力発信」 講 師：もみじケア株式会社 吉村 隆裕さん | 58人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受け入れ施設数 | 実習人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6施設 | 9人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設数 | 実習人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3校 | 5人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 2 地域のつどいの場立上げ支援事業 | | | | | | | |
|---------------------|---|---------------------|---|---------------|-------------------------------|---------------|--|
| 目 的 | 新規に立ち上がる高齢者対象のふれあいサロンへの助成、助言などを行い、継続的に活動できるよう支援する。 | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 高齢者を対象としたふれあいサロンの立ち上げ助成を行なった。 2,000円/回 × 開催回数(上限24,000円) ※初年度は立ち上げ支援として10,000円の追加加算有 助成実績 25団体</p> <table border="1"> <tr> <td>廿日市 地域 (13団体)</td> <td>木曜会、メロンクラブ、六笑いきいき倶楽部、ちょっとひといきカフェ、ふじタウン百歳体操、まゆ Cafe、百歳体操(愛あいひろば)、的場むつみ会、阿品台一丁目光の園百歳体操、佐方百歳体操教室、OB麻雀サロン、阿品100歳体操、健康体操クラブさんさん会</td> </tr> <tr> <td>佐伯地域 (4団体)</td> <td>光ヶ丘サロン、下峠サロン、里山サロン下大町、サロン玖島学園</td> </tr> <tr> <td>大野地域 (8団体)</td> <td>こぶしでまなあそ、元気クラブ、対敵山いきいきクラブ、鯛山&子育てサロン、百歳体操塩屋、いきいき百歳体操れんげじ万年青年会、鯛山塾、中山ヘルス・サロン</td> </tr> </table> <p>(2) 立ち上げ時の訪問、説明の実施 新規立ち上げに対して訪問、聞き取りを行なった。また、3年間の助成終了サロンへ継続して情報提供や助言を行なった。</p> | 廿日市 地域 (13団体) | 木曜会、メロンクラブ、六笑いきいき倶楽部、ちょっとひといきカフェ、ふじタウン百歳体操、まゆ Cafe、百歳体操(愛あいひろば)、的場むつみ会、阿品台一丁目光の園百歳体操、佐方百歳体操教室、OB麻雀サロン、阿品100歳体操、健康体操クラブさんさん会 | 佐伯地域 (4団体) | 光ヶ丘サロン、下峠サロン、里山サロン下大町、サロン玖島学園 | 大野地域 (8団体) | こぶしでまなあそ、元気クラブ、対敵山いきいきクラブ、鯛山&子育てサロン、百歳体操塩屋、いきいき百歳体操れんげじ万年青年会、鯛山塾、中山ヘルス・サロン |
| 廿日市 地域 (13団体) | 木曜会、メロンクラブ、六笑いきいき倶楽部、ちょっとひといきカフェ、ふじタウン百歳体操、まゆ Cafe、百歳体操(愛あいひろば)、的場むつみ会、阿品台一丁目光の園百歳体操、佐方百歳体操教室、OB麻雀サロン、阿品100歳体操、健康体操クラブさんさん会 | | | | | | |
| 佐伯地域 (4団体) | 光ヶ丘サロン、下峠サロン、里山サロン下大町、サロン玖島学園 | | | | | | |
| 大野地域 (8団体) | こぶしでまなあそ、元気クラブ、対敵山いきいきクラブ、鯛山&子育てサロン、百歳体操塩屋、いきいき百歳体操れんげじ万年青年会、鯛山塾、中山ヘルス・サロン | | | | | | |

| 3 広報啓発事業 | |
|----------|--|
| 目 的 | 市民の福祉に対する関心と意識を高めるため、広報紙やホームページなどを通じ、本会の取組みや福祉活動の紹介と市の福祉に関する情報を提供する。 |
| 実施内容 | 広報紙の発行やインターネットを利用した情報提供を通じ、市民や各種機関に広く市社協の取組みや市内の福祉活動の動向を周知し、住民の福祉への関心を高め、福祉活動への協力者を増やした。 |

| | |
|--|--|
| | <p>(1) 偶数月の1日に市社協広報紙「あいとびあ」を新聞折込みなどで各戸配布し、市社協の取り組みや行事案内、地域の福祉情報を広く住民に周知した。</p> <p>(2) 市社協パンフレットを作成、配布し、市社協の事業を広く住民に周知した。</p> <p>(3) リニューアルしたホームページを活用し、必要とする情報に的確に導いていけるような環境の整備を進めた。市社協の取り組みや行事案内、ボランティアの募集など地域の福祉情報をホームページに掲載し、タイムリーな情報を広く発信した。</p> <p>(4) ソーシャルネットワークの運用について、情報発信の新しい手段として公式LINEの活用について検討を開始した。広報紙とホームページ、SNSの強みの使い分けとすみ分けについて整理し、経費節減とタイムリーな発信ができるよう取り組んでいく。</p> |
|--|--|

| 4 災害救援事業 | |
|----------|--|
| 目 的 | 災害で被災した人に寄り添いながら、生活再建に向けた支援を行う「被災者生活サポートボランティアセンター」の立ち上げ、運営のために、「廿日市市被災者生活サポートボラネット」を構成する。平時には関係団体の顔の見える関係性づくり、市民の災害時の「共助」意識の啓発を行う。 |
| 実施内容 | <p>(1) 廿日市市被災者生活サポートボラネットの運営</p> <p>ア 「廿日市市被災者生活サポートボラネット」推進会議を開催した。(6/13)</p> <p>イ 「廿日市市被災者生活サポートボラネット」マニュアルの改訂(随時) 関係機関協働編に関して個別に構成団体から聞き取りを実施したが、改訂には至らなかった。</p> <p>ウ 構成団体、地域住民に向けた研修会の実施(年1回) 企画をしたが、令和6年能登半島地震の発生に伴い未実施</p> <p>エ メール試験送信を実施した。(6/13)</p> <p>オ 新規構成団体(ライオンズクラブ)に会議出席を呼びかけ、説明をした。</p> <p>カ 市内の災害ボランティアとの緩やかなネットワークづくり はつかいちし災害救援ボランティアネットワーク赤十字奉仕団の活動を支援した。</p> <p>(2) 他団体との連携</p> <p>ア 広島さっそくネットへの参加 「災害時における安心を共に支え合う相互協力に関する協定」によって結成した相互支援ネットワークである「広島さっそくネット」(広島県、13 団体、広島県社協)の廿日市市・大竹市ブロック会議に参加した。(11/22)</p> <p>イ はつかいち福祉ネット防災プロジェクトへの参加 はつかいち福祉ねっと防災プロジェクトは実施されたが、欠席(9/14)</p> <p>ウ 近隣自治体社協(安芸太田町・北広島町・大竹市)との災害時の連携協力として、4市町社協災害ボランティアセンター設置訓練運営会議に参加した。(12/12)</p> <p>(3) 災害発生時の支援 令和6年能登半島地震の被災地に職員を派遣し災害ボランティアセンター運営を支援した。</p> |

| 5 「重点」生活支援体制整備事業 | |
|------------------|--|
| 目 的 | 誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、生活支援のしくみの充実や高齢者の社会参加を図るとともに、地域課題を「我が事」として自分たちの力で解決し、みんなで支え合える地域づくりを進める。 |
| 実施内容 | <p>廿 (1) 廿日市市全域(第1層域)への働きかけ</p> <p>ア 市・関係機関との連携</p> <p>(ア) 各圏域の戦略会議を開催した。(適宜)</p> <p>(イ) 市地域包括ケア推進課との定例協議を開催した。(3回)</p> <p>(ウ) 地域ケア会議へ参画した。(3回)</p> <p>イ 取組みの可視化</p> |

- (ア) 生活支援コーディネーターの活動、地域の動きを社協広報紙に掲載した。
 - ・あいとびあ(4回)
 - ・つながLetter(6回)
 - ・ホームページ(4回)

ウ 局内連携

- (ア) 生活支援コーディネーター定例会議を開催した。(8回)
- (イ) アドバイザーによる勉強会を開催した。(6回)

(2) 廿日市地域(第2層域)への働きかけ

- ア 福祉活動を考えるきっかけとなる「ささえあいのまちづくり情報交換会」を開催した。(廿日市地域全域・2回)

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|---|-----|
| 5/29 | テーマ：地域で進める見守り活動 講 師：ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志 さん | 64人 |
| 2/16 | テーマ：ふれあいサロンの必要性及びサロンの機能について 講 師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課 河内 広行 さん | 49人 |

- イ 第3層ごとの協議の場の立ち上げ支援を行い、新たに2か所が立ち上がった。

- ウ 既存の協議の場へ出席し、継続支援を行なった。(144回)

- エ 2層域で協議の場を立ち上げるべく、廿日市地域を3圏域に分け、圏域ごとにそれぞれ担当生活支援コーディネーターが関わることにより協議の場の継続支援を図った。

- オ 移動支援に関して、他市町からの情報収集によりニーズ調査を行なった。

(3) 担い手の養成

- ア 地域活動を始める一歩を踏み出す機会として、「地域活動デビュー講座」を開催した。

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|--|-----|
| 12/5 | テーマ：地域活動の楽しみかた 講 師：特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター 事務局長 松原 裕樹 さん 活動報告：廿日市中央地区民生委員児童委員・ 原ほっとサロン世話人・音訳ボランティア 畑田 章 さん こぶしの里松が原 代表 平野 早百合 さん 運転ボランティア 八崎 眞理子 さん | 36人 |

佐 (1) 地域の課題を協議する場への支援を実施

- ア コミュニティ単位の協議の場(第3層協議体)の立ち上げを支援した。
3層域よりもさらに小地域の範囲での地域の状況をヒアリングし、可視化した。また、3層域での協議に参画し事業の啓発等を行なった。

- (ア) 津田・四和地区
ヒアリング：所山地区(7/4)

- (イ) 友和地区
光が丘団地マップ作り(8/29 10/31 11/14 1/30 3/26)
地域づくり講演会の開催

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|-----------------------------|-----|
| 9/21 | テーマ：誰もがともに生きることができるまちにするために | 24人 |

講 師：広島県立大学 手島 洋さん

(ウ) 玖島地区

町内会への趣旨説明(12/5)

ヒアリング：(2/19) 正ノ原地区(3/14)

(エ) 浅原地区

町内会への趣旨説明(7/22)

ヒアリング：冷川・猪之迫地区(8/3) 戸屋原地区(8/9) 郷中央地区

(8/10) 小田原地区(8/30)

戸屋原地区でのマップ作り(9/13)

浅原ビジョンワークショップに参画し、第3層協議体としての役割を担う
ことの確認を行なった。

イ サロン等の訪問を行い、地域課題の抽出及び資源開発を行なった。

サロン訪問件数 16カ所

(2) 専門機関との連携を図り、地域の課題の抽出及び、話し合いの場の設置

佐伯支所の地域づくり、市民福祉課と進め方について随時協議を行なった。

吉 (1) 生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会(第2層協議体)の開催

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|--|-----|
| 12/4 | ・福祉座談会について ・巡回バスの運行時間変更について ・泊りの施設について | 17人 |

(2) 吉和地域内 22 集落を対象に集会所単位 7 地区に出向いての懇談会の開催

| 開催日 | 集会所名 | 内 容 | 参加者 |
|-------|---------|-------------|-----|
| 10/23 | 第2集会所 | 地域のつながりについて | 9人 |
| 12/15 | 第1集会所 | 連絡網について | 6人 |
| 1/22 | 鍛冶屋川集会所 | 地域の行事につて | 5人 |
| 1/29 | 花原集会所 | 自主防災組織について | 4人 |
| 2/8 | 第3集会所 | 地域のつながりについて | 6人 |
| 2/14 | 石原集会所 | 地区の境界線について | 8人 |
| 2/22 | 中央集会所 | 地域のつながりについて | 4人 |

大 (1) 大野第2層協議体(大野地域福祉推進委員会)の積極的な推進のための先進地事例等の研究(視察)を組み入れ契機づけにした。

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|-------------------|-----|
| 6/28 | 大野地域福祉推進委員会 | 27人 |
| 3/2 | 第43回大野地域福祉推進研究協議会 | 93人 |

・地域ケア会議

・大野地域の地域づくりを考える会(おおの未来会議)(7/1)

・包括ケアシステム評価会議(5/16)

・区長会

(2) 大野第2区、8区、9区、10区の第3層協議体の継続支援をした。

ア 2区

・福祉推進委員会(2回)

・民生委員地区別勉強会(2回)

・サロン(だんだん)に参加

・区長及び福祉部会長、サロン世話人への聞き取り

イ 8区

・区長及び福祉部会長、サロン世話人への聞き取り

ウ 9区

・第3層協議体推進委員会

| | | |
|------|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 区長及び福祉部会長、サロン世話人への聞き取り ・ サロン交流会に参加(世話人及び参加者からの聞き取り) <p>エ 10区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のぞみ会(3層協議体への準備会議) 7回 ・ 区長及び福祉部会長、サロン世話人への聞き取り <p>(3) 他の区の協議の場設置に向けた働きかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1区：民生委員地区別勉強会、福祉部会との協議(研修会)など ・ 3区：民生委員地区別勉強会、サロンに参加など ・ 4区：民生委員地区別勉強会 ・ 7区：区長と協議(自主防災会の活動)、万年青会サロンに参加 ・ 11区：区役員と意見交換(移動手段等の課題抽出やニーズ把握) |
| | 宮 | <p>(1) 協議体の支援</p> <p>ア 第2層協議体の機能の定着</p> <p>(ア) 宮島地域コミュニティ推進協議会の生活環境福祉部会で、宮島地域の福祉を考える会(第3層協議体)で協議した福祉課題解決のための取り組みを情報共有した。</p> <p>(イ) 小学生と高齢者の世代間交流や、高齢者懇談会の開催、ファミサポを活用した支え合い活動の推進などサービスの周知やニーズとサービスのマッチングなどの取組みの支援を行なった。</p> <p>イ 第3層協議体の機能の定着</p> <p>(ア) 夜間の介護支援などの対応として、宮島地域緊急連絡フローを活用した消防署との連携支援を行なった。</p> <p>(イ) 歳末みまもり事業や高齢者懇談会等で地域のニーズ(地域課題)把握を行なった。</p> <p>(2) 担い手の養成及び活動の場とのマッチング</p> <p>ア 福祉まつりや人権講演会、ファミサポ事業等を活用し、支え合い活動を推進した。</p> <p>(3) 活動団体の支援</p> <p>ア 宮島支所や消防、地域の諸団体などの社会資源などと連携し、市民が安心して生活できる地域づくりに取り組んだ。</p> |
| 重点事項 | 廿 | <p>地区ごとの住民懇談会を開催する。(1地区以上)</p> <p>⇒地区の選定が困難であったため未実施</p> |
| | 佐 | <p>市民センターと連携し、サロン等から地域課題を抽出し、住民主体による課題の解決につなげる。</p> <p>⇒友和地区で新規で2か所のサロンの立ち上げ情報を共有、立ち上げに向けて支援中。</p> |
| | 吉 | <p>気のかけあう関係づくりや地域の課題やニーズを把握するため、地域住民との懇談会等を開催する。</p> <p>⇒吉和地域のすべての集会所に出向き懇談会を開催し、地域でのつながりやニーズを把握し、生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会につなげた。</p> |
| | 大 | <p>住民主体の地域活動に積極的に参加し、地域のニーズ把握につとめると同時に、住民主体での解決につなげる。</p> <p>⇒各区の地域活動(3層協議体やサロンなど)に積極的に参加し、地域のニーズ把握に努めた。特に10区ののぞみ会発足までの会議に参加し、大野地域福祉推進研究協議会でのぞみ会発足までのいきさつを報告してもらうことができた。</p> |
| | 宮 | <p>各協議体への支援とその機能の定着を図るとともに地域ニーズ把握に努める。</p> <p>⇒日常の困りごと・外出ニーズ・地域のささえあいをポイントに地域の課題やニーズ把握に努め、その対応を検討するなど地域課題解決へ取り組んだ。</p> |

6 福祉団体等支援事業

目的 福祉団体が地域の社会資源としての役割を安定かつ継続的に担えるようにするために

| | | | | |
|---|--|---------------------|---------------------------|---------|
| | 活動に対する助成を行う。また、児童や生徒が福祉活動を通じ、地域の担い手として成長することを促すために、学校で実施される福祉活動への協力・活動助成を行う。 | | | |
| 実施内容 | (1) 福祉団体への支援 | | | |
| | ア 福祉団体等活動助成 | | | |
| | 【全域】 (単位：円) | | | |
| | 廿日市市老人クラブ 連合会 | 100,000 | | |
| | 【廿日市地域】 | | | |
| | 廿日市市民生委員児童 委員協議会 | 100,000 | ささえ愛ネット はつかいち廿日市支部 | 265,000 |
| | 廿日市市献血推進協議会 | 70,000 | 廿日市地区保護司会 | 50,000 |
| | 特定非営利活動法人 廿日市市障害者福祉協会 | 150,000 | 廿日市市手をつなぐ 育成会 | 130,000 |
| | 廿日市市母子寡婦福祉 連合会 | 100,000 | 廿日市地区更生保護女性 会 | 30,000 |
| | 青少年育成廿日市 市民会議 | 50,000 | 社会福祉法人くさのみ 福祉会 くさのみ作業所 | 50,000 |
| | 虹の会 | 10,000 | | |
| | 【佐伯地域】 | | | |
| | 機能訓練会 「あけぼの会」 | 30,000 | 精神障害者家族会 「こぶし会」 | 30,000 |
| | ボランティアグループ 「ひまわり会」 | 50,000 | 在宅介護者の会 「リフレッシュクラブ」 | 20,000 |
| | 心と心のハーモニー フェスタ実行委員会 | 738,161 | 精神障害者サロン 「ちゅうりっぷの会」 | 20,000 |
| | コミュニティ活動支援 玖島・友和・津田四和・浅原 | 201,000 | | |
| | 【吉和地域】 | | | |
| | ボランティア吉和 (ささえ愛ネット はつかいち吉和支部) | 5,000 | | |
| | 【大野地域】 | | | |
| | 大野ボランティア連絡 協議会 | 154,000 | | |
| 【宮島地域】 | | | | |
| 宮島町食生活改善推進 協議会 | 30,000 | 地域ふれあいフェスタ 実行委員会 | 82,000 | |
| イ 助成金が効果的に活用されるよう、団体への聞き取りおよび、用途の精査をした。 | | | | |
| ウ 各種財団等が実施する助成事業の情報提供及び申請支援をした。 ホームページに、各種団体助成のお知らせ計2件を掲載した。 | | | | |
| エ 運営に係る各種支援 | | | | |
| (2) 市内の公立小中学校等が取組む福祉活動の支援 | | | | |
| ア 福祉教育を目的に廿日市市内の、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、計28校に活動費を助成した。 | | | | |
| (3) 活動の連携 | | | | |
| ア 宮島幼稚園 (地域ふれあいフェスタでの作品展示、街頭募金) | | | | |
| イ 宮島小学校 (地域ふれあいフェスタでの作品展示、認知症サポーター養成講座、宮島福祉センター施設見学、世代間交流) | | | | |
| ウ 宮島中学校 (地域ふれあいフェスタでの作品展示) | | | | |

| | | |
|------|---|---|
| 重点事項 | 大 | 活動の助成を行うことにより、必要な支援を行い福祉向上に努める。 ⇒障がいのある人たちの交流やボランティア活動を助成し、小中学校に対して福祉教育の活動を支援した。 |
|------|---|---|

| 7 認知症高齢者等支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-------|------|-----|-------|-------------------------------------|-------|----|-----|-------|-----------------|-------|-----------------|----|----|-----|----|------|-------|----|-----|------|----|-----|-------|---|------|-------|----|-----|-----|------|-----|-----|------|------|
| 目的 | 認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできるまちにするため、認知症の正しい理解の普及啓発、ネットワーク形成、ツールを活用した支援を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりを目指して、次のとおり事業を展開した。</p> <p>(1) 当事者団体の活動支援 「認知症の人と家族の会」や「在宅介護者の会リフレッシュクラブ」の活動を支援した。</p> <p>(2) 認知症サポーター等養成事業 ア 認知症サポーター養成講座等の講師役となる認知症キャラバン・メイトの活動を支援した。</p> <p>(ア) キャラバン・メイト運営協議会を運営した。 ・キャラバン・メイト運営推進委員会(6/12、12/13) ・キャラバン・メイト全体会(3/5) ・認知症啓発講演会を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>講演内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/10</td> <td>テーマ：認知症とともに生きる 講師：認知症当事者 下坂 厚 さん</td> <td>108 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・認知症啓発活動を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>名 称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/14</td> <td>フジグランナタリー健康フェスタ</td> </tr> <tr> <td>10/15</td> <td>フジグランナタリー健康フェスタ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・活動報告書の発行(年2回)</p> <p>(イ) キャラバン・メイト地域部会を開催した。 ・キャラバン・メイト廿日市地域部会(5/22) ・キャラバン・メイト佐伯・吉和地域部会(11/9) ・キャラバン・メイト大野宮島部会(5/26、6/22、8/17)</p> <p>イ 認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催した。</p> <p>(ア) 地域・職域・学校での認知症サポーター養成講座の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>回数</th> <th>受講者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域</td> <td>15 回</td> <td>340 人</td> </tr> <tr> <td>職域</td> <td>1 回</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>7 回</td> <td>610 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23 回</td> <td>970 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) ステップアップ研修の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>受講者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 回</td> <td>47 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 見守り安心ネットワーク事業 ア はつかいち見守り安心ネットワーク事業 外出したまま戻れなくなり行方不明となった人を、公共機関やタクシー会社、コンビニエンスストア、医療機関、ボランティアなどのネットワーク協力機関が、連絡網を通して情報を伝達し、出来る限り早期に発見保護するシステムの運用をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対応件数</td> <td>11 件</td> </tr> </tbody> </table> | 日時 | 講演内容 | 参加者 | 12/10 | テーマ：認知症とともに生きる 講師：認知症当事者 下坂 厚 さん | 108 人 | 日時 | 名 称 | 10/14 | フジグランナタリー健康フェスタ | 10/15 | フジグランナタリー健康フェスタ | 分類 | 回数 | 受講者 | 地域 | 15 回 | 340 人 | 職域 | 1 回 | 20 人 | 学校 | 7 回 | 610 人 | 計 | 23 回 | 970 人 | 回数 | 受講者 | 4 回 | 47 人 | 項 目 | 件 数 | 対応件数 | 11 件 |
| 日時 | 講演内容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/10 | テーマ：認知症とともに生きる 講師：認知症当事者 下坂 厚 さん | 108 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日時 | 名 称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10/14 | フジグランナタリー健康フェスタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10/15 | フジグランナタリー健康フェスタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 回数 | 受講者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域 | 15 回 | 340 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職域 | 1 回 | 20 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校 | 7 回 | 610 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 23 回 | 970 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回数 | 受講者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 回 | 47 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 件 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対応件数 | 11 件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----------|-------|--------|------|----|----|------|----|--------|-----|----|----------|----|-----|---|--------|----|----|------|----|------|----|----|-------|-------|-------|------|----|----|-----|-----------|----|----|-----|--------|-----|------|------|
| | <table border="1"> <tr> <td>無事発見・保護件数</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>事前登録者数</td> <td>127件</td> </tr> </table> <p>イ 廿日市市見守りシール交付事業 登録した人が衣服などに見守り(二次元コード)シールを貼り、行方不明になった際、発見者が二次元コードを読み取ると、保護者へ発見通知メールが届くシステムを運用した。</p> <p>(ア) 見守りシールの交付状況</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>対応件数</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>新規利用件数</td> <td>19件</td> </tr> </table> <p>(イ) 見守りシールの普及啓発活動</p> <table border="1"> <tr> <td>回数</td> <td>啓発活動実施状況</td> <td>人数</td> </tr> <tr> <td>38回</td> <td>金剛地小学校PTA：20人、Nカフェ：16人、日赤看護大：191人、認サポinあいプラザ：77人、佐方北・南ブロックお茶の会：31人、民児協(廿日市中央、宮園・四季が丘)：35人、他</td> <td>1,043人</td> </tr> </table> <p>ウ 位置検索性端末機貸与事業 位置検索性端末機(ココセコム)の利用申請受付、貸出した。</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>対応件数</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>貸出回数</td> <td>4台</td> </tr> </table> <p>【年度別実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>対応件数</td> <td>7件</td> <td>8件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>無事発見・保護件数</td> <td>5件</td> <td>7件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>事前登録者数</td> <td>87件</td> <td>115件</td> <td>127件</td> </tr> </table> | 無事発見・保護件数 | 11件 | 事前登録者数 | 127件 | 項目 | 件数 | 対応件数 | 0件 | 新規利用件数 | 19件 | 回数 | 啓発活動実施状況 | 人数 | 38回 | 金剛地小学校PTA：20人、Nカフェ：16人、日赤看護大：191人、認サポinあいプラザ：77人、佐方北・南ブロックお茶の会：31人、民児協(廿日市中央、宮園・四季が丘)：35人、他 | 1,043人 | 項目 | 件数 | 対応件数 | 0件 | 貸出回数 | 4台 | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 対応件数 | 7件 | 8件 | 11件 | 無事発見・保護件数 | 5件 | 7件 | 11件 | 事前登録者数 | 87件 | 115件 | 127件 |
| 無事発見・保護件数 | 11件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事前登録者数 | 127件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対応件数 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新規利用件数 | 19件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回数 | 啓発活動実施状況 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38回 | 金剛地小学校PTA：20人、Nカフェ：16人、日赤看護大：191人、認サポinあいプラザ：77人、佐方北・南ブロックお茶の会：31人、民児協(廿日市中央、宮園・四季が丘)：35人、他 | 1,043人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対応件数 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸出回数 | 4台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対応件数 | 7件 | 8件 | 11件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 無事発見・保護件数 | 5件 | 7件 | 11件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事前登録者数 | 87件 | 115件 | 127件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>廿 ネットワーク協力団体の新規加入への働きかけ(2団体以上) ⇒3団体に見守りネットワークへの加入の依頼をし、1団体の加入があった。</p> <p>佐 キャラバン・メイト連絡協議会を定期的に行い、意見の集約を行い、認知症サポーター養成講座をより充実させる。 ⇒認知症サポーター養成講座の要請を受け、キャラバンメイトと講座内容を協議し、内容の充実を図った。</p> <p>大 (1) 廿日市市キャラバン・メイト連絡協議会大野・宮島地域部会が主催する認知症サポーター養成講座の開催(年1~3回) ⇒年8回(小学校3校、地域4件、職域1件)延べ405人へ向けて開催した。 (2) 廿日市市キャラバン・メイト連絡協議会大野・宮島地域部会が主催する認知症サポーターステップアップ講座の開催(年1回) ⇒年4回(サロン3回、地域1回)延べ67人へ向け開催した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 8 地域のつどい・サロン支援事業 | |
|------------------|---|
| 目的 | 地域住民が運営し、地域の中で仲間づくりやつながりづくり、人間関係を豊かにしていくために集う、地域活動の場であるふれあいサロンに対し、その活動が円滑に継続できるように支援する。 |
| 実施内容 | <p>廿 (1) 4月にサロン情報チェックシートを更新し、サロンの開催状況の把握を行なった。</p> <p>(2) ふれあいサロンの立ち上げ支援(高齢者以外の障がい・子育てなど) ア 新規の立ち上げにかかる財政的な支援をした。1団体、ママサロン(子育て) イ サロン訪問し、活動を見学・相談助言などを行なった。</p> <p>(3) レクリエーショングッズを地域のサロンなどに138件貸出した。</p> <p>(4) サロン世話人のための「おしゃべりサロン」を開催した。</p> |

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|-------|---|-----|
| 7/25 | コツコツ体操をやってみよう・ワールドカフェでつながろう | 14人 |
| 9/11 | ふれあいサロン活動集を使った、サロン紹介・自己紹介 サロンですぐ使える簡単クイズ・簡単レクグッズを作ってみよう! | 19人 |
| 11/13 | 健康麻雀～体験会～ | 29人 |
| 1/19 | 資生堂ジャパン株式会社、心身リフレッシュ講座 頭皮ケア、ハンドケア おしゃべり～近況報告など | 13人 |
| 2/16 | サロン担当者研修会 | 9人 |
| | ふれあいサロン研修会 まちづくり情報交換会 | 43人 |

(5) サロン参加希望者の連絡調整、紹介を行なった。

ア 日本赤十字広島看護大学の実習受入れのため、サロンに案内、実習受入れ日程の調整や個別での説明を行なった。

| | |
|--|------|
| にこにこ元気サロン廿日市、ささえ愛ネット一景苑、むつみ会、夢あじな、たんぽぽ「笑いヨガ」、5丁目上サロン「阿品台」、サロン・ド・四季が丘、健康サロンあゆみ、お達者サロン、すくすくサロン、サロンつどい、ちょっとひといきカフェ、仲よしサロン「阿品」、廿日市地区まちづくり協議会、河津原サロン、はなのわ | 16ヶ所 |
|--|------|

イ 資生堂ジャパン株式会社より「化粧のちから」を通じたセミナーの紹介、申請手続を行なった。

| | |
|--|-----|
| サロン鼓ヶ浜、阿品2丁目げんきサロン、ほっこり家、金剛寺サロン、駅前ふれあいサロン・サロンむつみ会串戸、阿品100歳体操、阿品2丁目げんきサロン | 7ヶ所 |
|--|-----|

ウ サロン参加希望者に対して随時連絡調整、紹介を行なった。

(6) 計画的なサロン訪問(計89回)によるニーズの把握を行なった。

佐 (1) サロン連絡会議やサロンミニ講座の開催

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|-----|--|-----|
| 8/3 | 第1回サロン連絡会議 ミニ講座① テーマ：知っておくと安心!介護保険のこと 講 師：地域包括支援センター さいき ミニ講座② テーマ：見守り活動のススメ 講 師：廿日市市社会福祉協議会 | 13人 |
| 2/9 | 第2回サロン連絡会議 テーマ：大人の快眠 講 師：山口県東部ヤクルト販売株式会社 情報交換会 | 13人 |

(2) ふれあいサロン「オルゴール」の開催

孤立を防ぐつながりづくりや介護予防を目的とした地域の集いの場を、玖島・友和・浅原の各市民センターで開催した。(月1回)

| 開催日 | 実施回数 | 実施場所 | 延べ参加者数 |
|---------|------|----------|--------|
| 毎月第1金曜日 | 12回 | 浅原市民センター | 140人 |
| 毎月第2金曜日 | 12回 | 友和市民センター | 276人 |
| 毎月第3水曜日 | ※11回 | 玖島市民センター | 138人 |

※12月は雪で中止

| | <p>(3) 出前サロンの開催 サロン未開催の小集落への出前サロンの開催と、地域の自主運営の移行を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/16</td> <td>体操・情報提供など</td> <td>光が丘集会所</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>9/19</td> <td>レクリエーション</td> <td>光が丘集会所</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 未就園児を育てる保護者と子どもサロン「赤ちゃんすくすく広場」の活動支援機器の貸し出し等の支援を引き続き実施した。 (5) お茶の間サロン「花かご」を支援した。 (6) 地域のつどい・サロン運営の支援及び新規立ち上げを支援した。(4件) (7) 地域のふれあいサロンを訪問した。(16カ所) (8) ふれあいサロン活動集を作成した。 (9) レクリエーショングッズを貸出した。(46件)</p> | 開催日 | 内 容 | 実施場所 | 参加者 | 5/16 | 体操・情報提供など | 光が丘集会所 | 24人 | 9/19 | レクリエーション | 光が丘集会所 | 20人 |
|------|--|--------|-----|------|-----|------|-----------|--------|-----|------|----------|--------|-----|
| 開催日 | 内 容 | 実施場所 | 参加者 | | | | | | | | | | |
| 5/16 | 体操・情報提供など | 光が丘集会所 | 24人 | | | | | | | | | | |
| 9/19 | レクリエーション | 光が丘集会所 | 20人 | | | | | | | | | | |
| 吉 | <p>(1) 吉和地域にあるサロンの後方支援(5カ所) カラオケサロン：43回 延べ人数280人 いきいきサロン：49回 延べ人数254人 囲碁のつどい：42回 延べ人数173人 すこやかサロン：43回 延べ人数181人 ふれあいサロン：20回 延べ人数245人(冬季のみ)</p> <p>(2) レクリエーショングッズの貸出 5件</p> | | | | | | | | | | | | |
| 大 | <p>(1) サロン世話人の勉強会を開催した。10回開催 (2) サロン世話人の交流会、情報交換会 (開催日:5/15・内容:フレイル予防・参加人数:15人) (3) サロンへの情報提供、及び相談を12ヶ所実施した。 (4) レクリエーショングッズを19件貸出し、市民に貸出ししやすくするため倉庫の整備を実施した。 (5) サロン立ち上げの支援助成 十人十色(不登校・ひきこもりのサロン)の立ち上げ支援を行なった。 (6) サロン運営状況調査を10ヶ所実施した。 (7) サロン活動の広報 「ふれまちだより」、「あいとぴあ」にサロンの活動を紹介した。 (8) サロン情報冊子、レクリエーショングッズカタログの情報を更新した。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 宮 | <p>(1) サロン運営を後方支援した。 (2) サロン等へのレクリエーショングッズを貸出した。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>廿 サロン未実施地区で出張サロンを開催する。(年1回) ⇒地域選定が困難であったため、未実施。</p> <p>佐 (1) 地域のふれあいサロンを訪問し、活動状況の把握に努める。 ⇒16カ所訪問した。 (2) 各サロンの活動状況を広報紙「ひまわり日和」等で発信する。 ⇒奇数月発行の「ひまわり日和」に掲載し発信した。</p> <p>大 活動に生かせるような講座を開催したり、さまざまな情報を提供したりすることで、安心してサロン活動ができるよう支援する。 ⇒さまざまな地域活動に携わる活動者のフォローアップと、新たな活動者の発掘、既存の活動者のつながりづくりを目的とした講座「自分力アップ応援プログラム」を10回開催した。</p> | | | | | | | | | | | | |

| 9 日本赤十字社活動資金募集協力事業 | |
|--------------------|--|
| 目 的 | 日本赤十字社広島県支部廿日市市地区として、地域住民に「活動資金の協力により、赤十字の事業に参加する」という趣旨についての理解と事業の充実、発展に努める。 |
| 実施内容 | (1) 活動資金(会費)募集活動 ア 目標達成のため、日赤事業の趣旨の周知活動を行い、活動資金協力の呼びかけ |

| | <p>5月を活動資金募集運動月間として目標額12,260,000円に対し達成率は76.7%(前年度81.2%)となった。</p> <p>日赤活動資金募集実績 ()内は前年度実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th style="text-align: center;">活動資金実績</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9,406,109円(9,920,249円)</td> </tr> </table> <p>(2) 災害救援物資・見舞金交付対応 災害の対応及び救援物資の交付はなし。 救援物資の定期的な必要部数の確認及び在庫の保存状況の確認を行なった。</p> <p>(3) 義援金、救援金募集事務 国内外で発生した台風・地震・大雨などの大規模災害への義援金・救援金募集及び周知を行なった。</p> <p>(4) 赤十字講習会の案内、更新手続き</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5/21</td> <td>大野第一区防災ファミリー運動会</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7/29</td> <td>救急法基礎</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8/20</td> <td>救急法基礎</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10/10</td> <td>救急法短期講習(大野)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11/16</td> <td>幼児安全法</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12/15</td> <td>幼児安全法・健康生活支援講習・救命救急講習(大野)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 青少年赤十字加盟校登録事務、加盟促進をした。 令和5年度赤十字加盟校10件</p> <p>(6) 団体支援 18団体に助成</p> <p>(7) 災害救援用自動車の管理をした。(廿日市・大野)</p> <p>(8) 交付金精算事務(廿日市) 令和5年度交付金額1,548,936円</p> <p>(9) 作業服貸与管理した。(廿日市) 新規貸与 6件</p> <p>(10) 日赤個人会員台帳管理を行なった。(廿日市)</p> <p>(11) 役職員報告、表彰事務を行なった。(廿日市)</p> <p style="text-align: center;">【年度別実績】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">活動資金実績</td> <td style="text-align: center;">10,116,747円</td> <td style="text-align: center;">9,920,249円</td> <td style="text-align: center;">9,406,109円</td> </tr> </tbody> </table> | 活動資金実績 | 9,406,109円(9,920,249円) | 開催日 | 内 容 | 5/21 | 大野第一区防災ファミリー運動会 | 7/29 | 救急法基礎 | 8/20 | 救急法基礎 | 10/10 | 救急法短期講習(大野) | 11/16 | 幼児安全法 | 12/15 | 幼児安全法・健康生活支援講習・救命救急講習(大野) | 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 活動資金実績 | 10,116,747円 | 9,920,249円 | 9,406,109円 |
|------------------------|---|------------|------------------------|-----|-----|------|-----------------|------|-------|------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|---------------------------|-----|-------|-------|-------|--------|-------------|------------|------------|
| 活動資金実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9,406,109円(9,920,249円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5/21 | 大野第一区防災ファミリー運動会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7/29 | 救急法基礎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8/20 | 救急法基礎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10/10 | 救急法短期講習(大野) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11/16 | 幼児安全法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/15 | 幼児安全法・健康生活支援講習・救命救急講習(大野) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動資金実績 | 10,116,747円 | 9,920,249円 | 9,406,109円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 10 共同募金運動協力事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------|---------|-----------|---------|----|----|------|-----------|---------|---------|-----------|---------|------|---------|---|---|---|--------|------|---------|--------|---------|---------|--------|------|--------|--------|---|---|---|
| 目 的 | 地域住民が主体的に自分たちの地域を「持続可能な地域社会」にできる環境づくりを目的に、共同募金が民間福祉活動を支える重要な財源であるという趣旨を周知し、募金目標額の達成を支援する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 赤い羽根共同募金運動(10月1日～3月31日)を実施した。</p> <p>10/1 から 3/31 の共同募金運動期間に社協HPや広報紙での呼びかけ、街頭募金の実施、戸別募金、法人募金等を通して住民に「じぶんの町をよくするしくみ」としての活動を広く周知し、募金活動を行なった。目標額12,956,000円に対し、募金実績額12,728,447円、達成率98.2%となった。</p> <p>ア 募金活動の推進 新規法人募金の開拓に向け募金箱の設置協力や事業説明を行なった。単位(円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">廿日市</th> <th style="text-align: center;">佐伯</th> <th style="text-align: center;">吉和</th> <th style="text-align: center;">大野</th> <th style="text-align: center;">宮島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td style="text-align: right;">3,417,567</td> <td style="text-align: right;">870,100</td> <td style="text-align: right;">164,900</td> <td style="text-align: right;">2,484,132</td> <td style="text-align: right;">185,800</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td style="text-align: right;">135,944</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">34,377</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td style="text-align: right;">264,500</td> <td style="text-align: right;">92,000</td> <td style="text-align: right;">108,000</td> <td style="text-align: right;">218,000</td> <td style="text-align: right;">12,693</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td style="text-align: right;">85,052</td> <td style="text-align: right;">51,649</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> | | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | 戸別募金 | 3,417,567 | 870,100 | 164,900 | 2,484,132 | 185,800 | 街頭募金 | 135,944 | 0 | 0 | 0 | 34,377 | 法人募金 | 264,500 | 92,000 | 108,000 | 218,000 | 12,693 | 学校募金 | 85,052 | 51,649 | 0 | 0 | 0 |
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 戸別募金 | 3,417,567 | 870,100 | 164,900 | 2,484,132 | 185,800 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 街頭募金 | 135,944 | 0 | 0 | 0 | 34,377 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法人募金 | 264,500 | 92,000 | 108,000 | 218,000 | 12,693 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校募金 | 85,052 | 51,649 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|--------|-----------|-----------|---------|-----------|---------|
| 職域募金 | 263,029 | 11,060 | 23,000 | 69,650 | 2,500 |
| イベント募金 | 82,613 | 19,686 | 0 | 24,094 | 0 |
| その他募金 | 215,228 | 158,510 | 60,273 | 86,680 | 57,688 |
| 歳末募金 | 0 | 859,406 | 0 | 2,475,216 | 195,100 |
| 合計 | 4,463,933 | 2,062,411 | 356,173 | 5,357,772 | 488,158 |

(2) 共同募金募集活動を実施した。

ア 資材等の個別配布

町内会を通して配布。

イ 法人・団体への募金運動の推進

| | | | | | |
|------|-----|-----|----|----|----|
| | 廿日市 | 佐伯 | 吉和 | 大野 | 宮島 |
| 依頼件数 | 51 | 116 | 4 | 82 | 1 |
| 実績件数 | 26 | 16 | 4 | 52 | 1 |

ウ 地域福祉推進特別配分事業の普及 (3件)

(3) 歳末たすけあい運動(12月1日～12月31日)を実施した。

各地区で周知し佐伯、大野、宮島で募金活動を行なった。

(4) 地域テーマ募金(1月1日～3月31日)を普及推進した。

参加団体

ア 廿日市市手をつなぐ育成会

「つながろう ひろげよう 手と手をつなぐ‘絆’の輪を!!」

イ 廿日市市立宮園小学校

「命と伝統をつなぐ宮園安心プロジェクト」

ウ 廿日市市立吉和小学校

「吉和小学校創立150周年記念行事に、校章旗を飾ろう」事業

(5) 地域福祉推進会議等でPRした。

ア 市内での街頭募金活動

ゆめタウン廿日市(10/21・12/16)

宮島棧橋付近(10/7)厳島神社付近(11/7)

イ 福祉まつり等のイベント募金活動

・地域ふれあいフェスタでポスター掲示、福祉センター館内での募金箱、のぼり旗の設置を行い、周知啓発活動を実施した。(8/4)

・大野福祉ふれあいまつりで周知啓発活動を実施した。(10/15)

・心と心のハーモニーフェスタで募金箱の設置と募金活動を行った。(10/22)

・すこやかプラザまつりでポスターの掲示を行い、啓発活動を実施した。(11/4)

・あいプラザまつりでイベント募金、ポスター掲示、あいプラザ館内での募金箱、のぼり旗の設置を行ない、周知啓発活動を実施した。(11/5)

・宮島まちづくり交流センターまつりでポスターを掲示した。(12/2)

・宮園フェスティバルで募金ガチャを設置した。(1/28)

・串戸三世代交流会で募金ガチャを設置した。(3/23)

(6) 共同募金委員会運営委員会(8/29)、審査委員会(3/15)を開催した。

【年度別実績】

| | | | |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 募金実績(合計) | 13,615,426円 | 12,961,325円 | 12,728,447円 |

11 (廿)ボランティアセンター活動推進事業

目的 ボランティア活動が活発に行われる地域づくりを推進する。福祉学習の機会を通じて、市内の小中学校にボランティアの意義や必要性を伝える。高校生、大学生がボランティア活動に積極的に参加できる機会を作る。

実施内容 (1) ボランティアセンターの機能強化

ア 登録団体の情報と活動場所の把握

ささえ愛ネットはつかいち廿日市支部の登録情報を更新し、ホームページに掲載

した。

イ ボランティア活動の調整

活動希望者と依頼団体等との調整をした。

ウ ボランティア体験講座の開催

活動のきっかけとなる「今からはじめるボランティア講座」を開催した。(8/20)

(2) 福祉学習

ア 小中学校で福祉体験学習を開催した。

| 開催日 | 内容 | 講師 | 学校・学年 |
|-------|-----------|---------------|--------------------|
| 9/14 | 車いす体験 | ボランティアグループ飛来行 | 金剛地小学校 4年生 42人 |
| 9/28 | 点字体験 | 点訳クラブあい | |
| 10/12 | 手話体験 | 阿品台手話サークル | |
| 12/12 | 手話体験(2回) | 手話サークル虹レインボー | 廿日市小学校 3年生 117人 |
| 1/11 | 点字体験(2回) | 点訳クラブあい | |
| 1/15 | | | |
| 10/6 | 車いす体験 | ボランティアグループ飛来行 | 地御前小学校 4年生 69人 |
| 10/6 | 点字体験 | 点訳クラブあい | |
| 10/13 | 手話体験 | 阿品台手話サークル | |
| 10/2 | 手話体験(2回) | 阿品台手話サークル | 阿品台西小学校 4年生 83人 |
| 10/2 | 車いす体験(2回) | ボランティアグループ飛来行 | |
| 10/2 | 点字体験(2回) | 点訳クラブあい | |
| 11/1 | 手話体験(2回) | 阿品台手話サークル | 佐方小学校 3年生 110人 |
| 11/1 | 車いす体験(2回) | ボランティアグループ飛来行 | |
| 11/18 | アイマスク体験 | 椿会賛助会 | |
| 合計 | 23回 | | 421人 |

イ 高校、大学と連携を強化した。

(ア) ボランティア活動で社会につながる「スーパーサタデー」を山陽女学園高等部の学生に対して、企画実施した。

a 1年生

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|------|--|-----|
| 9/16 | テーマ：車いすの介助体験 講 師：ボランティアグループ「飛来行」 | 50人 |
| 9/27 | テーマ：福祉・介護の魅力発信 講 師：もみじケア株式会社 吉村 隆裕 さん | |
| 2/3 | テーマ：視覚障がいについて学ぼう 「ガイドヘルプ体験」 講 師：椿会賛助会 | |
| 3/2 | テーマ：要約筆記について学ぼう 講 師：廿日市要約筆記サークル やじろべえ・HPC小富士 | |

b 2年生

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|-------|-----------------------------------|-----|
| 12/26 | テーマ：共同募金活動をしてみよう 活動場所：ゆめタウン廿日市 | 35人 |

c 3年生

| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
|-------|------------------|-----|
| 10/22 | テーマ：共同募金活動をしてみよう | 44人 |

| | | |
|---|---|-----|
| | 活動場所：ゆめタウン廿日市 | |
| (イ) 山陽女学園高等部のリアライズコース(通信制)の学生に対して、ボランティア体験活動を企画実施した。 | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 |
| 11/8 | テーマ：折り紙カレンダーづくり 講 師：ボランティアグループ「ギンガム」 | 6人 |
| 12/6 | テーマ：折り紙カレンダーづくり 講 師：ボランティアグループ「ギンガム」 | 6人 |
| 1/15 | テーマ：要約筆記について学ぼう 講 師：HPC小富士 | 9人 |
| ウ ボランティア出張講座の開催 日本赤十字広島看護大学で講座「ボランティア活動とは」を行なった。(4/7) | | |
| (2) ささえ愛ネットはつかいち廿日市支部の活動支援 総会1回 役員会9回 定例会6回 | | |
| (4) ボランティア活動保険等の取扱事務 ボランティア活動保険 個人 69件 団体 67件 ボランティア行事保険 204件 福祉サービス総合補償 15件 送迎サービス補償 1件 事故報告 5件 (活動保険 4件 行事保険 1件) | | |
| (5) 企業の社会貢献活動への支援 J P労組(郵便局労働組合佐伯支部)の地域社会貢献活動に情報提供を行い、市地域振興課へつなぎ、地域社会貢献活動について協議を行なった。 | | |

12 (廿) ささえあいのまちづくり推進事業

| | |
|------|--|
| 目 的 | 地域の福祉を推進する関係機関等と連携し、地域の中で解決できるよう、地域のささえあい活動を支援する。 |
| 実施内容 | (1) 地域課題を協議する場への支援 ア コミュニティ単位での協議の場の立ち上げに対し助成した。 6地域(佐方・廿日市・平良・原・宮園・四季が丘) イ 協議への参画と助言を行なった。 (2) 地域の活動推進に必要な情報提供 ア つながLetterを6回(奇数月)発行した。 (3) 住民参加型の交流イベントの実施 ア あいプラザまつりを実施した。(11/5) ボランティアグループによるボランティア体験、福祉関係団体による、バザー、地域福祉活動「ふれあいサロン」の活動紹介。 新たなつながりを創出するため、関係機関との振り返りを実施し、翌年度の見直し等を協議した。(11/15) |

13 「重点」(佐) 地域福祉活動事業

| | | |
|------|--|-----|
| 目 的 | 福祉課題解決のために、地域住民や福祉関係機関と連携し、地域で支え合うしくみづくりを推進する。 | |
| 実施内容 | (1) 福祉委員活動推進事業 ア 地域の福祉課題やニーズを発見し、課題解決のために近隣住民に働きかけ、地域で協力・連携することを目的とした福祉委員活動の推進に努めた。 イ 福祉委員の役割や社協会費・共募募金活動等の協力依頼のため、玖島、友和、津田・四和、浅原の4地区と地域全体で福祉委員会会議を開催した。 | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 |

| | <table border="1"> <tr> <td>4/20</td> <td>社協活動の説明</td> <td>玖島地区(2人) 友和地区(15人)</td> </tr> <tr> <td>4/21</td> <td>福祉委員活動及び日赤活動資金・社協会費募集について</td> <td>浅原地区(4人) 津田地区(17人) 全地区合同(11人)</td> </tr> <tr> <td>9/21</td> <td>社協活動の説明</td> <td>玖島地区(2人) 友和地区(15人)</td> </tr> <tr> <td>9/22</td> <td>日赤活動資金・社協会費募集状況及び共同募金活動について</td> <td>浅原地区(4人) 津田地区(17人) 全地区合同(11人)</td> </tr> </table> | 4/20 | 社協活動の説明 | 玖島地区(2人) 友和地区(15人) | 4/21 | 福祉委員活動及び日赤活動資金・社協会費募集について | 浅原地区(4人) 津田地区(17人) 全地区合同(11人) | 9/21 | 社協活動の説明 | 玖島地区(2人) 友和地区(15人) | 9/22 | 日赤活動資金・社協会費募集状況及び共同募金活動について | 浅原地区(4人) 津田地区(17人) 全地区合同(11人) |
|------|---|-------------------------------------|---------|-----------------------|------|---------------------------------------|-------------------------------------|------|---------|-----------------------|------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 4/20 | 社協活動の説明 | 玖島地区(2人) 友和地区(15人) | | | | | | | | | | | |
| 4/21 | 福祉委員活動及び日赤活動資金・社協会費募集について | 浅原地区(4人) 津田地区(17人) 全地区合同(11人) | | | | | | | | | | | |
| 9/21 | 社協活動の説明 | 玖島地区(2人) 友和地区(15人) | | | | | | | | | | | |
| 9/22 | 日赤活動資金・社協会費募集状況及び共同募金活動について | 浅原地区(4人) 津田地区(17人) 全地区合同(11人) | | | | | | | | | | | |
| | <p>(2) 福祉施設等連絡会の開催 佐伯地域で施設間の交流・連携を図り、共通の課題を共有するとともに、今後の取組みについて検討する場として福祉施設等連絡会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/25</td> <td>お久しぶりとはじめましてミーティング (拡大)福祉施設・事業所連絡会</td> <td>12施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>「ちいとやまの事業所つながり日和」(メールレター)配信3回</p> | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 7/25 | お久しぶりとはじめましてミーティング (拡大)福祉施設・事業所連絡会 | 12施設 | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | | | | | | |
| 7/25 | お久しぶりとはじめましてミーティング (拡大)福祉施設・事業所連絡会 | 12施設 | | | | | | | | | | | |
| | <p>(3) 広報啓発活動 佐伯地域版の広報紙「ひまわり日和」を6回発行</p> <p>(4) 過疎地域における福祉活動の促進 佐伯中学校の「カタリバ」に参加し、中山間の人材確保に努めた。</p> <p>(5) 各地域のコミュニティ支援 ア 玖島、友和、津田・四和、浅原のコミュニティ活動に助成金を交付し住民福祉組織の活動強化に努めた。 イ 地域のつどい・サロンの運営及び活動支援(地域のつどい・サロン事業に掲載) ウ 地域での支え合い体制づくりに向けた、地域課題についての検討会の開催 小地域での地域課題のヒアリングを行った。(生活支援体制整備に掲載)課題別としては、認知症をテーマにした専門職の会議を行なった。</p> <p>(6) 心と心のハーモニーフェスタ実行委員会の事務局 心と心のハーモニーフェスタを実施し、地域福祉の普及啓発を行なった。(10/24、800人参加)</p> | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>福祉委員会議やサロン訪問等により、地域課題を共有し、住民同士が気にかけて支えあう地域づくりにつなげる。 ⇒地域のつどい・サロン事業、生活支援体制整備事業・認知症高齢者支援事業を横につなぎ、重層的な支援が可能となった。 社会福祉法人だけでなく、佐伯地域の対象、種別を超えた事業所の集まりを作ることができ、「佐伯地域事業所マップ」を作成できた。</p> | | | | | | | | | | | | |

| 14 (佐)ボランティアセンター活動推進事業 | |
|------------------------|---|
| 目 的 | 福祉活動の担い手であるボランティアの活動を支援し、佐伯地域の小・中・高校生が取り組む福祉活動を支援する。 |
| 実施内容 | <p>(1) ボランティアの登録・相談・調整、保険加入業務を実施。</p> <p>(2) ボランティア活動のきっかけづくりや養成講座の開催 地域内の福祉施設と連携し、ボランティア受入れ一覧、施設マップを作製し、佐伯高等学校、佐伯中学に配布した。</p> <p>(3) 小・中・高校生を対象にしたボランティア体験学習を開催した。 ア 赤い羽根募金活動(心と心のハーモニーフェスタ会場)(小学生3人参加) イ 緑化活動(11/8:津田小学校児童10人、ボランティア3人)</p> <p>(4) 小学生を対象とした福祉教育(車いす、手話等)体験学習の開催(未実施)</p> <p>(5) 佐伯ボランティアグループ連絡協議会「ひまわり会」の活動を支援した。 ア フリーマーケット(4/15実施)</p> |

| | |
|------|--|
| | イ ボランティア交流会(音楽レクレーション)(6/29 実施) ウ ボランティア通信(月1回発信) エ ひまわり会役員会議(5/22・6/26 実施) |
| 重点事項 | 小学生を対象とした福祉教育の体験学習を開催し、ボランティア活動への理解・関心を深める。 ⇒高校生・小学生のボランティア体験学習で花植えや募金活動で学校と連携を図り、理解・関心を深めた。今後も継続して取り組んでいく。 |

15 (吉)多機能サロン実施事業

| 目的 | 障がいや高齢、認知症、子育て中の親子などさまざまな人の居場所、行き場として地域や自宅で孤独を感じず、心身ともに健康で生活が送ることができる、誰もが参加できる活動の場づくりとする。 | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
| 実施内容 | (1) 障がい者、高齢者、認知症、子育て中の親子など、誰もが参加できるサロン(百歳体操・ハンドベル・折り紙などの軽作業)の開催 【年度別実績】 | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数</td> <td>18日</td> <td>21日</td> <td>20日</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者</td> <td>68人</td> <td>70人</td> <td>86人</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 開催日数 | 18日 | 21日 | 20日 | 延べ参加者 | 68人 | 70人 | 86人 |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | |
| 開催日数 | 18日 | 21日 | 20日 | | | | | | | | | | |
| 延べ参加者 | 68人 | 70人 | 86人 | | | | | | | | | | |

16 「重点」(吉)いきいき活動推進事業

| 目的 | 地域の課題やニーズを地域の取組みへ発展させるために関係機関と連携し地域の課題解決力を高めるとともに、地域のつながりを保ち、生涯暮らし続けられる地域づくりを目指す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|-----|----|-----|------|--|-----|-----|----|-----|------|---|-----|-----|--|-----|------|----|-----|--------|-------------------------------------|----|
| 実施内容 | <p>(1) 生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会の開催及び後方支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/4</td> <td>・福祉座談会について ・巡回バスの運行時間変更について ・泊りの施設について</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 高齢者懇談会「あつまろう家」の助成及び後方支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/20</td> <td>佐藤靖子さんの昭和の歌 テーマ：1日1万歩3か月やってみた 講師：吉和診療所 医院長 吉川 仁 さん テーマ：フレイル予防と百歳体操 講師：保健師</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>3/7</td> <td>妹尾夫妻によるサクソとピアノの演奏 テーマ：認知症について(相談窓口紹介) 講師：地域包括支援センターさいき</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 吉和地域広報誌「ぬくもり」の毎月発行(500部/月) (4) 葬儀用品の貸出(家族葬などにより貸し出しは0件) (5) 福祉車両「たすけあい号」の貸出(6団体 17回) (6) 市が実施した「吉和地域暮らしのDX推進実証実験」へ参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～9月末</td> <td>テレビ電話を使ったオンライン見守り AIセンサーを利用した見守り</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> | 開催日 | 内容 | 参加者 | 12/4 | ・福祉座談会について ・巡回バスの運行時間変更について ・泊りの施設について | 17人 | 開催日 | 内容 | 参加者 | 7/20 | 佐藤靖子さんの昭和の歌 テーマ：1日1万歩3か月やってみた 講師：吉和診療所 医院長 吉川 仁 さん テーマ：フレイル予防と百歳体操 講師：保健師 | 54人 | 3/7 | 妹尾夫妻によるサクソとピアノの演奏 テーマ：認知症について(相談窓口紹介) 講師：地域包括支援センターさいき | 54人 | 実施期間 | 内容 | 参加者 | 4月～9月末 | テレビ電話を使ったオンライン見守り AIセンサーを利用した見守り | 4人 |
| 開催日 | 内容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12/4 | ・福祉座談会について ・巡回バスの運行時間変更について ・泊りの施設について | 17人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7/20 | 佐藤靖子さんの昭和の歌 テーマ：1日1万歩3か月やってみた 講師：吉和診療所 医院長 吉川 仁 さん テーマ：フレイル予防と百歳体操 講師：保健師 | 54人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3/7 | 妹尾夫妻によるサクソとピアノの演奏 テーマ：認知症について(相談窓口紹介) 講師：地域包括支援センターさいき | 54人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 内容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4月～9月末 | テレビ電話を使ったオンライン見守り AIセンサーを利用した見守り | 4人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | 「吉和地域暮らしのDX推進実証実験」が行われることから、吉和地域の高齢者の見守り体制を強化するために実証実験に参加し、生涯暮らし続けられる吉和地域づくりに努める。 ⇒一人暮らしの高齢者の室内の室温や明るさ、人の動きなど検知するAIセンサーを設置し、室内の状況をAI技術で分析し、日々のデータや異常状態の情報をパソコ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

ンに送り、遠隔で確認できる実証実験を行なった。

| 17 (吉)すこやかプラザまつり開催事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|-----------|------------|----|-------|-------|-------|-----|----|----|---------|----|------------|-----------|------------|------|------|-----|------|
| 目的 | 吉和地域の福祉活動の拠点である吉和福祉センターや社協、福祉団体の活動等を福祉まつりを通して身近に感じてもらい、誰もが気軽に交流・活動できる拠点として周知し、住みやすい地域づくりを目指す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | (1) 吉和地域の文化祭とすこやかプラザ祭りの同時開催 内容：スタンプラリー、フリーマーケット、健康チェックコーナー、介護相談コーナー、社協の活動や地域ボランティア、福祉団体等地域福祉活動の紹介展示 【年度別実績】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>11/4(土)</td> </tr> <tr> <td>展示</td> <td>11/4～11/10</td> <td>11/1～11/4</td> <td>11/1～11/12</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>230人</td> <td>80人</td> <td>150人</td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 開催日 | 中止 | 中止 | 11/4(土) | 展示 | 11/4～11/10 | 11/1～11/4 | 11/1～11/12 | 来場者数 | 230人 | 80人 | 150人 |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 中止 | 中止 | 11/4(土) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 展示 | 11/4～11/10 | 11/1～11/4 | 11/1～11/12 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 来場者数 | 230人 | 80人 | 150人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | 令和5年5月に隣接してオープンした吉和支所複合施設(吉和ふれあい交流センター)と連携して開催し、来場者増加を図り、地域福祉活動の啓発を行う。 ⇒吉和ふれあい交流センターで展示部門を行い、交流センターと福祉センター連携を図るとともに、福祉活動の啓発を行なった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 18 (吉)ボランティアセンター活動推進事業 | |
|------------------------|---|
| 目的 | 吉和地域のボランティアを育成するとともに、地域住民や吉和学園の児童生徒との交流体験により、ボランティアへの関心と理解を深めることで、ボランティア活動者の増加を図る。また、住みやすい地域をつくるため、ボランティア活動を推進する。 |
| 実施内容 | (1) ボランティア調整 障がい者バスハイク・すこやかプラザまつり・あつまろう家などボランティア調整を行なった。 (2) ボランティア活動保険、行事保険など各種保険の受付 (3) 吉和学園の福祉教育 吉和学園の児童、生徒に参加を呼びかけ、障がい者スポーツ教室に参加してもらい、障がい者への理解と交流、ボランティアの育成を図った。 (4) ボランティア吉和の活動支援 |

| 19 「重点」(大)ふれあいのまちづくり推進事業 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|-----|-----|----|------|--|-----|-----|-----|----|-----|---|-----|
| 目的 | 地域の福祉を推進する関係機関等と連携し、さまざま取組みや活動を協働することで、現行の福祉サービスだけでは解決できない福祉ニーズを、地域の中で解決できるよう新たな取組みやしくみを考え、だれもが住み慣れた地域で暮らし続けることができる住民主体の地域づくりをすすめる。 | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | (1) 福祉部会概況調査を実施し地域アセスメントに活かした。 (2) 地域福祉推進委員会を開催した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/28</td> <td>令和4年度地域福祉推進事業報告 令和5年度地域福祉推進事業計画 大野地域福祉推進研究協議会について 地域の取組みと課題について</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> (3) 地域福祉推進研究協議会を開催した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/2</td> <td>テーマ：～「気になる」を「気にかける」へ！大野のさりげない見守り活動に注目～ 活動報告：大野第10区 講 師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課</td> <td>93人</td> </tr> </tbody> </table> | 開催日 | 内 容 | 人数 | 6/28 | 令和4年度地域福祉推進事業報告 令和5年度地域福祉推進事業計画 大野地域福祉推進研究協議会について 地域の取組みと課題について | 27人 | 開催日 | 内 容 | 人数 | 3/2 | テーマ：～「気になる」を「気にかける」へ！大野のさりげない見守り活動に注目～ 活動報告：大野第10区 講 師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課 | 93人 |
| 開催日 | 内 容 | 人数 | | | | | | | | | | | |
| 6/28 | 令和4年度地域福祉推進事業報告 令和5年度地域福祉推進事業計画 大野地域福祉推進研究協議会について 地域の取組みと課題について | 27人 | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | 人数 | | | | | | | | | | | |
| 3/2 | テーマ：～「気になる」を「気にかける」へ！大野のさりげない見守り活動に注目～ 活動報告：大野第10区 講 師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課 | 93人 | | | | | | | | | | | |

| | 課長 河内 広行 さん | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--------|----|----|-----|-----|------|-----|----|------|-----|----|-----|-----|----|----|------|------------------------|--------|------|---------------------|--------|
| | <p>(4) 各種地域活動への助成</p> <p>ア 一般会費地区交付金 各区に一般会費の7割を交付し地域福祉活動の推進に努めた。</p> <p>イ 地区福祉活動費助成</p> <p>(ア) 地域の高齢者や障がい児者、子どもを対象に行われる大野地域の区の自主活動による支え合いの活動に対し、その経費の一部を自主活動費として助成した。</p> <p>(イ) 地域の高齢者や障がい児者、子どもを対象に行われる大野地域の区の福祉部会による支え合いの活動に対し、その経費の一部を福祉部会活動費として助成した。</p> <p>(ウ) 地域の高齢者や障がい児者、子どもを対象に行われる大野地域のサロン活動に対し、その経費の一部をサロン開催費として助成した。</p> <p>(5) 地区給食サービスへの助成 区の福祉部会が地域のボランティアを募り、地区の一人暮らし高齢者および障がい者世帯に、食事の提供と安否確認を行う事業に対し、活動経費の一部を助成した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施地区</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第2区</td> <td>10回</td> <td>415人</td> </tr> <tr> <td>第5区</td> <td>7回</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>第7区</td> <td>1回</td> <td>53人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 環境美化活動(花いっぱい運動)の推進 各区の花いっぱい運動を支援し、住民同士及び障がい者施設との交流に努めた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>品種</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/25</td> <td>サルビア、マリーゴールド、日々草、ポチュラカ</td> <td>2,280個</td> </tr> <tr> <td>11/2</td> <td>パンジー、ピオラ、葉牡丹、ノースポール</td> <td>2,524個</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 福祉ふれあいまつり実行委員会の事務局運営および助成 「大野福祉ふれあいまつり実行委員会」への助成および運営支援を通じ、住民に対し福祉啓発を10/15(日)まるくる大野で開催した。</p> <p>(8) 大野地域版広報紙「ふれまちだより」を6回発行した。</p> <p>(9) 車いすを87件貸出した。</p> | 実施地区 | 回数 | 人数 | 第2区 | 10回 | 415人 | 第5区 | 7回 | 147人 | 第7区 | 1回 | 53人 | 実施日 | 品種 | 数量 | 5/25 | サルビア、マリーゴールド、日々草、ポチュラカ | 2,280個 | 11/2 | パンジー、ピオラ、葉牡丹、ノースポール | 2,524個 |
| 実施地区 | 回数 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2区 | 10回 | 415人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5区 | 7回 | 147人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第7区 | 1回 | 53人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施日 | 品種 | 数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5/25 | サルビア、マリーゴールド、日々草、ポチュラカ | 2,280個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11/2 | パンジー、ピオラ、葉牡丹、ノースポール | 2,524個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | <p>生活支援体制整備事業と連携し、大野第2層協議体である大野地域福祉推進委員会の積極的な推進のため先進地事例等の研究(視察)を組み入れ、地域の福祉課題及び生活支援サービスの開発についての議論が進むような運営を目指す。また、「ふれまちだより」を支所会議及び区長会で配布し、地域の活動を広報する。</p> <p>⇒生活支援体制整備事業との連携では、1区福祉部会視察研修で柳井市日積地区生活応援検討会を訪問し情報交換を行うなど、3層協議体に向けた取組みにつないでいる。また、10区のぞみ会発足までの活動について10区役員が大野地域福祉推進研究協議会で報告するなど、事業連携を図った。</p> <p>「ふれまちだより」で各区のサロン活動やレクグッズの案内など地域活動が活発に行えることを目標に広報を行なった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 20 (大)ボランティアセンター活動推進事業 | |
|------------------------|---|
| 目 的 | ボランティア体験を通じ、障がい・福祉についての理解を深め、さまざまな年代のボランティア活動者を増やす。また、地域住民同士の助け合いが広がることで、災害時などいざという時手が差し伸べられる人を増やす。 |
| 実施内容 | <p>(1) ボランティア登録・調整・相談業務 団体、個人合わせ401人の登録、ボランティア学園(参加者延べ95人)、大野学園6年生、大野東小学校3年生、宮島学園3年生の福祉学習を行い、大野ふれあいサロン「プラム」のボランティア調整を行なった。</p> <p>(2) 新規ボランティア人材の開拓 大野学園、大野東小学校、宮島学園など職域での福祉体験学習(きっかけづくり講</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>座)の実施やボランティア養成講座等を開催した。 の実施やボランティア養成講座等を開催した。 (3) 地域ボランティア広報紙「ボランティアニュース」を発行した。(年6回) (4) 大野ボランティア連絡協議会への活動支援及び情報提供した。 (5) 大野ボランティア連絡協議会、地域団体と連携し、地域福祉推進研究協議会では手話通訳を調整、福祉ふれあいまつりでは点字・手話体験コーナーを設けた。</p> |
| 重点事項 | <p>大野ボランティア連絡協議会と協議し、ボランティア活動に興味を持てるような講座や体験日を開催する。 ⇒ボランティア体験日を設け、7人の参加があり、そのうち5人がボランティア活動継続となった。</p> |

| 21 (大)高齢者等移送サービス事業 | |
|--------------------|---|
| 目的 | 通院や買物などの日常生活の利便向上や社会参加の促進を図るため、公共交通機関不便地域を対象として、巡回車両を運行する。 |
| 実施内容 | (1) 毎週火曜日に、渡ノ瀬～大野支所間の往路・復路の車両を運行する。利用料 500円。事前予約制。運行は祝日、年末年始を除く。 |
| 重点事項 | <p>利用者のニーズが確認できなければ、事業の終了を検討する。 ⇒公共交通政策として、大竹・栗谷のデマンド型乗り合いタクシー運行サービスが検討されており、11区役員と本事業の継続及び廃止について協議を行なった。また現利用者(一世帯)の利用ニーズについても聞き取りを行い、次年度は利用料の値上げ(1,000円)と運行日程の変更(第2、4火曜)を行うことで合意を得た。</p> |

| 22 「重点」(宮)高齢者自立支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|-------|-------|-------|-------|------------|-----|------|------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----------|-----|------|----------|-----|-------|--|-----|------|---------------------------------------|-----|------|----------|-----|
| 目的 | 対象者の介護予防・健康増進に努めるとともに地域での孤立感緩和や閉じこもりを解消し、ひとり暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域見守り活動の役割を担った事業を実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 高齢者給食サービスを実施 民生委員児童委員がチラシを対象者に配布し、宮島町食生活改善推進協議会が手作り弁当を作り、宮島支所の職員も毎回参加し、連携をとってサロンのな食事会を行なった。また、会場を2会場で同時開催し、近くの会場で参加できるよう、参加者数の増加を促した。</p> <p>(2) ひとり暮らし高齢者懇談会を実施 サロンのな食事会を行うとともに、民生委員児童委員協議会と共催で消防などによる研修会を開催した。</p> <p>【年度別実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食サービス参加人数</td> <td>60人</td> <td>149人</td> <td>210人</td> </tr> <tr> <td>高齢者懇談会参加人数</td> <td>20人</td> <td>28人</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者給食サービス</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/20</td> <td>サロンのな食事会</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>7/19</td> <td>サロンのな食事会</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>10/17</td> <td>サロンのな食事会 テーマ：食べて元気にハツラツ生活 講 師：廿日市市大野支所 健康福祉係 保健師 手嶋 郁美 さん 栄養士 益本 淳子 さん</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>1/16</td> <td>サロンのな食事会 宮島支所保健師による食生活に関するアンケートを実施</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>2/20</td> <td>サロンのな食事会</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 給食サービス参加人数 | 60人 | 149人 | 210人 | 高齢者懇談会参加人数 | 20人 | 28人 | 82人 | 開催日 | 内 容 | 参加者 | 6/20 | サロンのな食事会 | 43人 | 7/19 | サロンのな食事会 | 39人 | 10/17 | サロンのな食事会 テーマ：食べて元気にハツラツ生活 講 師：廿日市市大野支所 健康福祉係 保健師 手嶋 郁美 さん 栄養士 益本 淳子 さん | 44人 | 1/16 | サロンのな食事会 宮島支所保健師による食生活に関するアンケートを実施 | 44人 | 2/20 | サロンのな食事会 | 40人 |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給食サービス参加人数 | 60人 | 149人 | 210人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高齢者懇談会参加人数 | 20人 | 28人 | 82人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 内 容 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6/20 | サロンのな食事会 | 43人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7/19 | サロンのな食事会 | 39人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10/17 | サロンのな食事会 テーマ：食べて元気にハツラツ生活 講 師：廿日市市大野支所 健康福祉係 保健師 手嶋 郁美 さん 栄養士 益本 淳子 さん | 44人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1/16 | サロンのな食事会 宮島支所保健師による食生活に関するアンケートを実施 | 44人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2/20 | サロンのな食事会 | 40人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|--|---|------|
| | ひとり暮らし高齢者懇談会 | | |
| | 開催日 | 内 容 | 参加者 |
| | 5/26 | テーマ：上手に食べて、元気に長生き！ ～低栄養の予防～ 講 師：株式会社明治 栄養士 島岡 真美 さん | 36 人 |
| 12/12 | テーマ：火災と病気にソナエント！ 講 師：廿日市市宮島消防署 野嶋 宏輝 さん | 46 人 | |
| | <p>(3) あんしんほっとコールを実施 「おはようコール」による、安否確認や健康状態の把握をした。 ひとり暮らしに不安を抱える3人の高齢者世帯に対して合計175回、希望される曜日や時間に電話による定期連絡を行い、安否確認や見守りを実施した。</p> | | |
| 重点事項 | <p>(1) 高齢者給食サービス、ひとり暮らし高齢者懇談会 ア 島内の関係機関と連携を図り、参加者以外の人たちの情報を収集し、孤立状態の人の発見につなげる。連携を密にし、情報共有していくことで、高齢者が安心できる生活を実現していく。 ⇒協力団体である宮島町食生活改善推進協議会や近所の住民と、気になる人の情報を共有し、さりげない声掛けを続け、参加を促した。 前回参加していて今回申し込んでいない人には連絡を取り、近況を聞くことで見守りを強化した。 対象を、ひとり暮らし高齢者等と少し広げたことで、チラシを配布してくれる民生委員児童委員が、最近越してきたひとり暮らし高齢者のことを知らせてくれたり、住民が、対象者ではないが参加したい人を紹介してくれたり、近所や同じクラブに通う友達同士で誘い合って申し込んだり、毎回参加することで住民と協力団体の輪も広がってきた。</p> <p>(2) あんしんほっとコール ア 利用者の生活状況等の確認を行い、必要な場合は関係機関につなげる等の措置を取り、見守り活動を推進していく。 ⇒近所との繋がりが少ない利用者に宮島支所の緊急連絡票を紹介し、支所とも情報を共有した。 イ 地域情報誌や行事ごとの場で説明を行うとともに、地域包括支援センターやケアマネージャーより利用対象になる方に案内していただき、利用者の増加につなげる。 ⇒あいとぴあによる情報提供のほか、給食サービス、ファミサポ利用者、歳末みまもり事業で見守りが必要と思われる住民には、あんしんほっとコールの案内をした。</p> | | |

| 23 (宮)福祉コミュニティ支援事業 | |
|--------------------|---|
| 目 的 | 紙門松配布事業については、新生活運動の一環として従来の門松等の虚礼を廃止し、資源保護と簡素化及びコミュニティ推進を目的として事業を実施する。また、歳末みまもり事業については、厳島神社の協力を得て緊急連絡票を提出しているひとり暮らし高齢者等の見守りや孤独感緩和のほか、本会の認知度向上などを目的に事業を実施する。 |
| 実施内容 | <p>(1) 紙門松配布事業 ア 広島市地域女性団体連絡協議会に紙門松を発注した。 イ 12月広報配付時に合わせて、宮島地域各町内の全世帯(782世帯)に紙門松を配付した。</p> <p>(2) 歳末みまもり事業 ア 12月に70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とした安否確認等の見守り活動と、母子・父子家庭を対象とした育児支援を目的に、12月6日～22日の期間で、対象者103世帯(70歳以上の一人暮らし高齢者100世帯+母子世帯3世帯)に社協職員が赤飯等を配布するとともに、社協事業の案内や困りごと等の聞き取りを行なった。</p> |

基本目標 3

職員の資質向上、魅力ある組織づくり、持続可能な財政基盤づくりを進めます

「市民生活に即応した社協の仕事を市民とともに」、そうした基本認識の下で、計画目標を持った適正な執行管理を実現し、地域福祉の具現化を図るため、自立した「ありがたい廿日市市の地域福祉の姿」の創出を目指します。

今年度は中期経営計画の中間年にあたります。この経営計画を推進していく上で、今年度においては特に「職員のキャリアに応じた人材育成と人員配置」「緊急対応・危機管理体制の構築」「安定的な人件費の確保」の3つを重点的に取り組むテーマとして掲げ、推進しました。

この基本目標に向けて実施した事業は次のとおりです。

| 事業名 | 廿日市市社会福祉協議会第2次中期経営計画との関連性 | 決算額 (千円) | 財源 | | | |
|--------------------------------|---|-------------|----|----|----|-----|
| | | | 自主 | 補助 | 委託 | その他 |
| 1 事務局運営事業 | 経営方針Ⅰ／目標2・3 経営方針Ⅱ／目標1～3 経営方針Ⅲ／目標1・2 | 1,717 | ○ | | | |
| 2 役員評議員活動事業 | 経営方針Ⅲ／目標3 | 1,801 | ○ | | | |
| 3 職員人材育成事業(職員研修事業ほか) | 経営方針Ⅰ／目標1～3 | 535 | ○ | | | |
| 4 財務運営事業(人件費・退職金支給・社会福祉基金運営事業) | 経営方針Ⅲ／目標3 | 111,578 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 総合相談支援体制強化事業(※) | 経営方針Ⅰ／目標1～3 | - | | | | |
| 6 吉和福祉センター・宮島福祉センター管理事業 | 経営方針Ⅲ／目標1 | 27,345 | | | ○ | |

※本事業は「第3期地域福祉活動計画」における活動方針 / 推進事項(51 ページ)とも関連させて実施。

各事業の詳細については、次のとおりです。

| 1 事務局運営事業 | |
|-----------|--|
| 目的 | 社協事業を円滑にかつ効率的に行うための組織体制の整備と事務環境の整備を行い、安心して地域福祉活動を行うための財源を確保する。 |
| 実施内容 | (1) 社協事業の財務管理及び人事・労務管理 (2) 社協事業への住民の理解促進と、会費募集・寄付金等の受理 (3) 市との指導監査、補助金・委託料等の交付、県社協、共同募金からの補助金・助成金等の交付 (4) 職員採用の実施 (5) 人事考課の実施 (6) 法人運営における各種規程の整理 (7) 事業継続計画(BCP)等の策定 (8) ITの積極的な活用 |

| | | |
|------|---|--|
| 重点事項 | 廿 | 自然災害の発生や感染症の流行を想定した事業継続計画(BCP)や具体的な対応マニュアルを作成する。 ⇒職員全体会議、理事会・評議員会での意見聴取を行い、事業継続計画(BCP)を策定した。 |
| | 佐 | 地域福祉活動の理解を深めるための啓発活動に力を入れ、団体会員については企業訪問を行うことにより加入促進を図る。 ⇒企業からの新規団体会員が1件あった。令和6年度は春に企業訪問を実施予定。 |
| | 大 | 事務の効率化・適正化を図るとともに、自主財源確保に努める。 ⇒各区長や個人、企業へ社協会費への協力を依頼し、財源の確保に努めた。ふれまちだよりにて、寄付金のお礼を掲載した。 |

2 役員評議員活動事業

| | |
|------|--|
| 目的 | 社協の良好な経営、運営を行うための理事会、評議員会等の機能を充実させる。 |
| 実施内容 | (1) 理事会、評議員会、正副会長会議の開催 ・理事会 6/6、6/9(書面決議)、6/23、12/28(書面決議)、1/18、3/5 ・評議員会 6/23、1/24、3/19 ・正副会長会議 5/25、1/9、2/19 (2) 監査の実施 ・事業及び決算監査 5/22、23 ・中間監査 11/16、17 (3) 役員評議員研修会の実施及び外部研修への参加促進 ・理事、評議員研修 5名、監事研修 1名参加 |
| 重点事項 | 6月の理事・監事改選にあたり、役員選任を滞りなく行い、その役割を果たすための話し合いの場、部会、研修会・勉強会等を充実させる。 ⇒書面決議などを活用し、スムーズな理事・監事改選及び適切な会議開催を行うことができた。 |

3 職員人材育成事業(職員研修事業ほか)

| 目的 | 研修を通じて社会福祉協議会職員の知識、技術を向上させる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|----------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 実施内容 | (1) 広島県社会福祉協議会、及び他団体が計画、実施する専門的な研修、職員の資質の向上を目指す研修に参加 (2) 新規採用職員研修と、職員の要望に沿ったPC研修の開催 (3) 職位とスキルに応じた研修の受講促進、及びスキルアップのための人事管理(人事考課)の実施 【年度別実績】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県社協研修</td> <td>32人</td> <td>14人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>その他団体の研修</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>本会の職員全体会議</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 県社協研修 | 32人 | 14人 | 29人 | その他団体の研修 | 0人 | 5人 | 6人 | 本会の職員全体会議 | 0回 | 1回 | 1回 |
| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 県社協研修 | 32人 | 14人 | 29人 | | | | | | | | | | | | | | |
| その他団体の研修 | 0人 | 5人 | 6人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 本会の職員全体会議 | 0回 | 1回 | 1回 | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点事項 | 人材育成と適切な人員配置を進めるため、職員のキャリア・スキルシートを作成する。 ⇒キャリア・スキルシートの作成には至らなかったが、人事考課で「業務目標・成果シート」を作成し、職員個々の職責に見合う能力開発、モチベーションアップを図ることができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

4 財務運営事業(人件費・退職金支給・社会福祉基金運営事業)

| | |
|----|---|
| 目的 | 【人件費・退職金支給】 職員の人件費確保、退職金積立・支給、事業運営・雇用安定、長期的雇用促進を目指す。 |
|----|---|

| | |
|------|--|
| | 【社会福祉基金事業】 地域福祉活動推進、ボランティア活動育成の資金充当のため、基金を管理・運用する。 |
| 実施内容 | 【人件費・退職金支給】 (1) 市への補助金交付申請・精算 (2) 地域包括支援センターへの負担金交付申請・報告 (3) 退職金積立、支給については全国社会福祉団体職員退職手当積立基金、広島県社会福祉従事者互助会事業退職手当により実施 |
| 重点事項 | 人件費の長期的な将来推計を算出し、市と協議を進めながら安定的な人件費の確保につとめる。 ⇒市からの次年度補助金は一定額確保できたが満額には至らず、引き続き安定的な人件費の確保に向けて交渉につとめる。 |

5 総合相談支援体制強化事業

| | |
|------|---|
| 目的 | 複合的な課題を抱える世帯等に対して、部門横断により課題の解決や地域生活支援を行うための総合相談支援体制の強化を目的に組織内の協力体制の構築等に取り組む。 |
| 実施内容 | (1) 総合相談体制強化に向けた協力体制の構築 ア 総合相談体制推進会議(隔月) 地域福祉課全体の会議を偶数月に計6回開催。地域情報の共有や今後の取組みについての協議、事例検討会や勉強会を行なった。 事例検討会は計4回開催(内容:生活困窮、権利擁護) 勉強会は計2回開催(内容:共同募金、被災地支援) (2) 協議体制の推進 ア 所内会議(地域福祉課4グループ:毎月) 課内の4グループごとの会議。各事業の進捗状況確認や課題共有。個別ケースについての協議等を行なった。 イ GL会議(グループリーダー:随時) 課長、グループリーダーによる会議。グループ内の課題共有や組織としての取組み方針等についての協議を行なった。計9回開催。 ウ 課長会議(廿日市事務局課長補佐以上:随時) 別の会議で補ったため、開催しなかった。 エ 実務者会議(全事務所の実務者:毎月) 事務所間の情報共有、地域福祉活動計画や中期経営計画の中間見直しについての方針、BCP計画策定等について検討した。計9回開催。 (3) 総合相談体制の企画 ア 企画調整チーム(隔月開催)が基となり、総合支援体制強化のための企画(しくみづくり、共通のツール作成等)を検討するとともに地域福祉活動計画と連動した取組みの進行管理、ふりかえりの実施を行なった。計6回開催。 イ 組織の課題解決力を強化するための事例をテーマにした研修会は開催できなかったが、採用2年目職員を対象とした研修会を企画した。 ウ 各所属で把握している資源の情報を情報集約するため、廿日市市が導入した社会資源情報共有ツールの活用に向けて、説明会に参加した。 |

6 吉和福祉センター・宮島福祉センター管理事業

| | |
|------|---|
| 目的 | 施設利用を通じて、利用者・団体の相互の出会い、ふれあい、学びあいの場となり、健康と福祉の活動の輪が地域につながり、より拡大され、地域の福祉を支える拠点施設とする。 |
| 実施内容 | (1) 施設を安全に快適に利用していただくよう、施設、設備及び物品の維持管理、修繕業務 (2) 使用許可等に関する業務 (3) 福祉・保健のための各種事業 |

| | | |
|------|---|--|
| 重点事項 | 吉 | <p>令和 6 年度以降(5 年間)も指定管理者として引き続き本会が受託する必要がある、その準備をしていく。</p> <p>令和 5 年 5 月に隣接して吉和支所複合施設がオープンすることから、吉和福祉センター(社協吉和事務所、よしわせせらぎ園、ほっと吉和)、同敷地内の吉和診療所とともに連携し施設の運営、吉和地域の拠点づくりに努める。</p> <p>⇒令和 6 年度からの指定管理者としての申請等を行い、選任された。</p> <p>吉和ふれあい交流センター・よしわせせらぎ園・ほっと吉和・吉和診療所などと連携し、地域の拠点になるよう努めた。</p> |
| | 宮 | <p>(1) 令和 6 年度以降の宮島福祉センター指定管理者受託に向けた準備を行う。</p> <p>⇒令和 6 年度からの宮島福祉センター指定管理者受託に向け、指定管理者申請要項に基づき申請に関する諸業務を行なった。質問票の提出(7 月 6 日)、申請書の提出(8 月 22 日)、候補者プレゼン(10 月 26 日)、宮島福祉センター指定管理者の候補者として選定された。(市の 12 月議会で宮島福祉センター指定管理者として指定された。)</p> <p>(2) 市民が安心・安全に施設利用ができるよう、施設・設備の保守点検及び計画的な修繕を行う。</p> <p>⇒本施設は竣工から 29 年が経過し老朽化が進んでいるため、市民が安心・安全に施設利用ができるよう、施設・設備の保守点検に努めるとともに、昇降機機能維持改修や煙感知器、非常放送設備等の消防設備の改修、温水洗浄便座の改修等、必要な修繕を行なった。</p> |